

薬科学科

Department of Pharmaceutical Sciences

[4年制]



医薬品・化粧品・食品の
専門家

薬学科

School of Pharmacy

[6年制]



薬剤師

医療栄養学科

Department of Clinical Dietetics and Human Nutrition

[4年制]



管理栄養士

2019

城西大学

JOSAI UNIVERSITY Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

薬学部

一人ひとりの未来を
医療・食・生活から
支える道へ!



建学の精神

学問による人間形成

学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段であるという「学問による人間形成」の建学の精神にもとづき、城西大学は、地域に根ざした国際総合大学として独自のプログラムを通し、地域や社会と連携し社会のニーズに応え、それぞれの分野での教育と研究の成果を積み重ねています。

大学の理念

建学の精神「学問による人間形成」に基づき、社会に有為な人材を育成するとともに、人類文化の発展に寄与することを理念としています。

薬学部 教育方針

理念

薬学部において学んだ者が、豊かな人間性および幅広い教養と深い専門性を身につけ、地域社会の人々が主観的QOL (quality of life: 生活と人生の質) を高く維持し健康のより良い状態を目指すことを支援し、さらに、社会のグローバル化に適切に対応することによって、本学の建学の精神である「学問による人間形成」を実現します。

教育研究上の目的

薬学部は、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材の育成を目指します。

1. 薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。
2. 薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目指します。
3. 医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。

■ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

薬学部では、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる専門知識・技能、思考力・判断力・表現力を有し、実社会に貢献できる能力を身につけ、さらに各学科の所定の要件を満たす人に学士(薬学、薬科学、医療栄養学)の学位を授与します。

■カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

薬学部では、自立した社会人としての意識づけを行うことと、外国語の習得のための「基本科目」、幅広い人間性を養う上で有用な「関連科目」を配置しています。さらに、医療や健康に関して高い専門性を有した医療人・技術者の育成に必要な「専門科目」を配置し、段階的、体系的なカリキュラムを編成しています。

■アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

薬学部では、「人々の主観的QOL (quality of life: 生活と人生の質)」を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材を育成します。よって、医療・健康分野で貢献できる人材として、薬学部における知識修得に必要な基礎学力を有するとともに、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもち、物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人を求めます。

★薬学科 [6年制] 教育方針

School of Pharmacy

■ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。このような教育目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(薬学)の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚をもち、深い専門的な知識、広い教養と豊かな人間性を備え、関連する広範な分野で活躍する能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、薬学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献する能力
- 医療人としての深い専門的な知識と技能を、地域社会の維持・発展に対して、グローバルな視点を持って積極的に利用する能力
- 医療制度、他職種との役割を理解し、地域包括ケアシステムやチーム医療の場において主体的かつ協働的に貢献する薬剤師としての能力
- 栄養学の素養、食と健康の関係に関わる知識を有し、例えば、かかりつけ薬剤師としてなど、人々の身近にいて、その健康維持に貢献する薬剤師としての能力

■カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・薬剤師としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のプレッシュマンセミナーや総合薬学分野Iが準備されています。
- 基本科目としての英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 医療人・薬剤師としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつづけて養います。
- 生理・治療分野および医療薬学分野に配置されている栄養関連の科目をとおして食、栄養に関する知識を深め、食をつづけて人々の健康を護る能力を併せもつ薬剤師の育成を目指します。
- 総合薬学分野IIに配置されている科目によって、医療制度、他職種の役割を理解し、高度医療への対応力と、社会の多様性に対応して関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる薬剤師になる能力を養います。
- 実務実習、専門語学科目をつづけて、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する薬剤師の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。

■アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

薬学科は、基本的な薬学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備え、人々の健康増進を積極的に支援する薬剤師の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

◆関心・興味・意欲

- かかりつけ薬剤師として地域社会で暮らす人々の健康増進に貢献したいと考えている人
- チーム医療の場で他職種と連携して活躍したいと考えている人
- 食と栄養に強い薬剤師になりたいと考えている人
- グローバル化する社会に対応できる薬剤師になりたいと考えている人
- 薬剤師として求められる研究力を身につけ、薬学と医療の発展に貢献したいと考えている人

◆期待する能力: 知識・専門性

- 薬学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人
- 高等学校で履修すべき教科・科目(英語、国語、数学、化学(物理・生物も履修することが望ましい))

◆期待する能力: 態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、薬剤師資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人

■ディプロマ・ポリシー
(学位授与の方針)

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(薬科学)の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬学、化粧品・化粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協動的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

■カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施の方針)

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 生活者を支援する研究者・技術者としての自覚を育て、道徳的能力および幅広い教養と豊かな人間性を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー、総合薬科学分野Iの医薬品・食品・化粧品概論など、さらに関連科目を配置しています。
- 基本科目は、大学における学習方法や、学生生活の指導を通じて自立した社会人としての意識付を行い、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科目を配置しています。
- 関連科目には、幅広い教養と豊かな人間性を養うために、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目を配置しています。
- 専門科目(総合薬科学分野、基礎薬科学分野、生理・治療分野および医療薬科学分野)は、薬、食および化粧品などとして開発・生産される化学物質に関する知識集約型産業分野において活躍できる高い専門性を有する研究者・技術者を養成するために配置しています。
- 異文化理解力および国際的コミュニケーション力の向上を目指し、海外姉妹校で単位を修得するセメスター留学制度を設けています。
- 薬科学卒業研究、専門語学科目を通じて、研究者・技術者として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を養います。
- 薬科学卒業研究では、研究の基礎となる課題発見能力、問題解決能力、自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション能力を身につけます。
- 臨床検査技師の素養・資格をもった薬科学技術者を目指す人のために、必要な科目を必修、選択および自由科目として配置しています。
- 中学校・高等学校教諭(理科)を目指す人のために、教職関連科目を配置しています。

■アドミッション・ポリシー
(入学受入の方針)

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって以下のような人の入学を求めます。

◆関心・興味・意欲

- 医薬品関連、機能性食品、化粧品や機能性化粧品などの研究者または開発者になりたいと考えている人
- 生命科学関連の研究者になりたいと考えている人
- 薬科学研究者・技術者として、グローバル化する社会に貢献したいと考えている人
- 医薬品、機能性食品、化粧品分野で起業したいと思っている人
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働きたいと思っている人

◆期待する能力

- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人
- 高等学校で履修すべき教科・科目(英語、国語、数学、理科(化学、生物)(物理も履修することが望ましい))
- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人

■ディプロマ・ポリシー
(学位授与の方針)

医療栄養学科は、基本的な医療栄養学の知識に加え、医療人として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士(医療栄養学)の学位を授与します。

- 医療人としての強い自覚を持ち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍できる能力
- 医療人として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 医療人として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、表現力に加え、医療栄養学を基盤とした研究力を有し、人々の健康増進に貢献できる能力
- 医療制度、他職種との役割を理解し、チーム医療において主体的かつ協動的に貢献する管理栄養士になる能力
- 医学、薬学の素養を有し、関連する広範な分野で人々の健康を護るために活躍できる管理栄養士になる能力

■カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施の方針)

医療栄養学科では、「幅広い教養と豊かな人間性を有し、地域社会ならびに国際社会において活躍できる専門性を身につけた管理栄養士の養成」を達成することを目標としています。この教育目標を達成するために、基本科目、関連科目および専門科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 医療人・管理栄養士としての自覚を育て、道徳的能力を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー・演習、医療栄養学概論・演習が準備されています。
- 基本科目として英語科目を設定し、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養成します。
- 関連科目には、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目が配置され、幅広い教養と豊かな人間性を養います。
- 医療人・管理栄養士としての深い専門的な知識や技能は、専門科目全体をつらして養います。
- 専門科目の基礎医療栄養学分野、衛生・公衆栄養学分野、医療栄養学分野の科目によって、医学、薬学の素養を有する栄養学のスペシャリストの育成を目指します。
- 臨床実習、専門語学科目などにより、医療人として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を有する管理栄養士の育成を目指します。
- 卒業研究では、課題発見能力・問題解決能力を身につけ、基本的研究力を養います。また自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション力を身につけます。
- 専門科目の中から所定の単位を取得することにより、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格を得ることができます。また、栄養教諭を目指す人のために、「教職関連科目(自由科目)」を用意しています。

■アドミッション・ポリシー
(入学受入の方針)

医療栄養学科は、人々の健康増進を支援する管理栄養士の育成を目指します。したがって以下のような人の入学を求めます。

◆関心・興味・意欲

- 個人をみることができると管理栄養士を目指している人
- 地域ならびに国際的な医療・福祉活動に貢献できる管理栄養士を目指している人
- 薬や病氣と最新の栄養学を学ぼうとしている人
- 栄養教諭として社会に貢献したい人
- 食品衛生管理者、食品衛生監視員として社会に貢献したい人

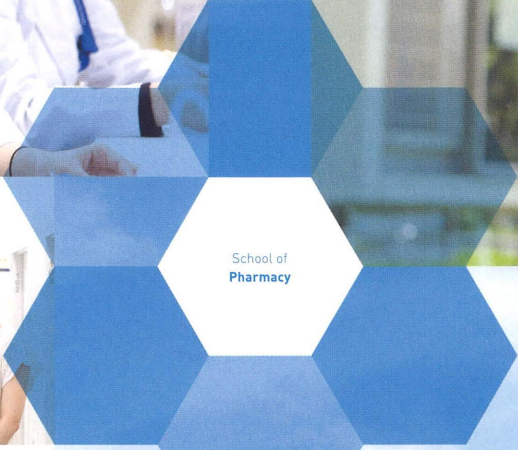
◆期待する能力:知識・専門性

- 医療栄養学教育に対応できる十分な基礎学力をもち、医療栄養学に強い意欲をもつ人
- 高等学校で履修するのが望ましい教科・科目(英語、国語、理科(化学、生物))

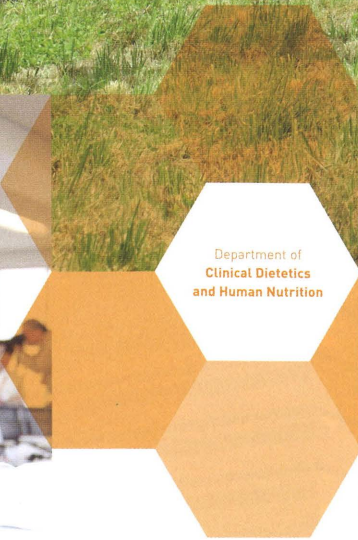
◆期待する能力:態度・人格・思考・判断・実践的スキル・表現

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、管理栄養士資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人





School of
Pharmacy



Department of
Clinical Dietetics
and Human Nutrition





Department of
Pharmaceutical Sciences



城西大学 薬学部

JOSAI UNIVERSITY Faculty of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

2019

Contents

- 01 建学の精神／大学の理念／教育方針
- 03 Contents
- 05 3学科のしくみ／ごあいさつ／薬学部の歩み
- 06 城西大学ならではのユニークな教育

07 学科紹介 ★ 薬学科

13 学科紹介 ★ 薬科学科

19 学科紹介 ★ 医療栄養学科

- 25 大学院
- 27 坂戸キャンパス
施設紹介／キャンパスカレンダー／クラブ&サークル
- 29 学生サポート
- 30 出身校一覧／学生納付金





ごあいさつ

予防医療や栄養管理など、
明日の日本の健康を支える鍵を
総合的に学べる学部です。

城西大学 薬学部長
小林 大介



私たち城西大学薬学部の目標は、食と栄養に強い「薬剤師」、薬と医療の専門知識を備えた「管理栄養士」、さらに医薬品・化粧品・食品の幅広い分野でWell-being(よりよく生きる)を実現する「スペシャリスト」を養成するとともに、それぞれの領域を超えた教育研究を行うことで、人々の健康と安全な生活を実現することにあります。

現代における健康とは、単に病気でないだけでなく、体の状態が良好で、なおかつ毎日をイキイキとその人らしく暮らせることを言います。その実現の鍵を握っているのは、病気を未然に防ぐ「予防医療」と健康の基盤をつくる「栄養管理」、そして、一人ひとりが自ら健康を管理する「セルフメディケーション」の3つです。社会に暮らす人々の、それぞれの人生や価値観に合った健康を支えるためには、医療や栄養に関する高度な知識・技能はもちろん、適切な情報発信力を備え、何より人の思いに寄り添うことのできる人材が欠かせません。また、日本社会の高齢化が急速に進む中、事態にどう対応するかは、医療界全体の課題でもあります。

日本で唯一、薬学科・薬科学科・医療栄養学科の3学科を持つ城西大学薬学部は、こうした時代の要請に応え、医薬・食・生活の総合的な視点から、健康で豊かな暮らしを支える専門家を育成することに日々取り組んでいます。充実した大学生活の中で人間的にも大きく成長し、社会に貢献する日をめざして、ぜひ私たちとともに薬学の持つ可能性にチャレンジしましょう。

城西大学
薬学部の歩み

- 1965年1月
学校法人城西大学 設立認可
- 1965年4月
城西大学開設
- 1973年4月
薬学部薬学科・製薬学科開設
- 1977年4月
大学院薬学研究科
薬学専攻修士課程開設
- 1979年4月
大学院薬学研究科
薬学専攻博士後期課程開設
- 1998年4月
大学院薬学研究科
医療薬学専攻修士課程開設
- 2001年4月
薬学部医療栄養学科開設
- 2005年4月
大学院薬学研究科
医療栄養学専攻修士課程開設
- 2006年4月
薬学部薬学科(6年制)、
薬学部薬科学科(4年制)開設
- 2010年4月
大学院薬学研究科
薬科学専攻博士前期課程開設
- 2012年4月
大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程開設
大学院薬学研究科
薬科学専攻博士後期課程開設

学生の「学ぶ意欲」を支援する城西大学ならではのユニークな教育

意欲を力に変える制度

★ 研究室早期配属制度

通常、薬学科では4年次前期、医療栄養学科と薬科学科では3年次後期に所属研究室が決まるところを、それ以前に研究室に所属し、いち早く卒業研究を始められることができます。一足早く白衣を着て本格的な研究に着手できることから、学生の間でも好評です。3学科とも2年次より、研究に興味があり、成績上位の学生が対象です。対象年次の初めに興味のある研究分野の研究室に志望願を提出後、審査の上、各研究室に配属されます。



医療人マインドを形成する授業

★ 3学科共通授業

病院・薬局や企業など、どんな職場であっても、医療人には健康を失った方の気持ちに寄り添うことが常に求められます。だからこそ学生であるうちに、「薬学を学ぶ」とは一体どういうことなのかを再確認し、さらに卒業後、医療人の一員となった時にも生涯にわたって必要となる意識や姿勢を育てるため、毎年、3学科共通の授業を実施しています。患者さんの気持ちを少しでも理解できるよう多くの機会が用意されています。



薬学部で受けられる支援

★ キャリア形成支援

薬学部(3学科)におけるキャリア形成支援の一環として毎年12月に実施され、保険薬局、病院、ドラッグストア、製薬・化粧品・食品企業、治験関連企業など計100社以上が参加しています。学生は熱心に業界・企業研究に取り組んでいます。



★ 生涯教育講座

薬学部では、卒業生をはじめ、地域社会で活躍する薬剤師や管理栄養士などの医療人、医療を支える薬科学者を対象に、生涯教育講座を開講。最新情報を提供しています。



★ 薬局管理栄養士研究会 (卒業教育)

地域の「健康支援拠点」としての役割が求められる薬局・ドラッグストアで活躍する管理栄養士の情報交換と相互の連携を図ることを目的として発足しました。



その他 ★ 女性人材育成センター など

NEWS! 22号館竣工予定

2019年3月、新たに22号館が竣工予定です。この建物は鉄骨一部鉄骨鉄筋コンクリート造りの地上7階建てで、さまざまな授業に使われる講義室のほか、薬学部の研究室・実習室を併設する予定です。



埼玉県の大学として、地域と連携した活動

★ 彩の国連携力育成プロジェクト (IPW 実習)

IPW (Interprofessional Work) 実習は、城西大学、埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学の学生が共同で取り組んでいる「彩の国連携力育成プロジェクト」の連携科目のひとつで、保健医療福祉の現場で患者や利用者、地域が抱える課題を通して連携や協働を学ぶことを目的としています。

実習を体験しました!
薬学科5年 宮鍋 舞子さん (東京都立豊多摩高校)



IPW実習で医療法人康正会病院に行き、入院患者さんのQOL向上の提案をする課題に取り組みました。埼玉県立大学から看護師、検査技師、作業療法士をめざす3人の学生、日本工業大学から生活空間デザイナーをめざす1人の学生、そして城西大学から薬剤師をめざす私が参加し、5人で専門職(多職種)混合チームを結成。他大学、他学部の学生と関わることは初めてでしたが、ディスカッションを重ねるうちに自然と打ち解けることができ、実習前に比べると多くの職種と協働する苦手意識がなくなりました。IPW実習は4日間という短い期間でしたが、将来、私がめざす薬剤師像が見えてくるとともに、今後の課題を見出すことができ、大きく意識が変化しました。そして未来は私たちの手にかかっていると実感しました。

★ 高麗(にま)川プロジェクト

城西大学は、J-CLIP*の環境保全・環境創造の一環として高麗川流域の地域行政(越生町、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町)と連携協力し、活力ある安心・安全な地域コミュニティの実現に貢献しています。「高麗川かわガール」は高麗川の美化活動、自然・生物調査、定点観測、水質検査のほか、カヌーやアユ漁等を実施。こうした活動に学生は自主的・主体的に取り組み、地域住民との交流を通じて成長し続けています。



*城西大学は、地域課題の解決を通じた教育・研究プログラムを体系化することで、地(知)の拠点としての機能や教育の質を飛躍的に高めることを目的としたプロジェクト活動「連携教育・研究推進プロジェクト(J-CLIP)」を全学で展開中です。

★ リレー・フォー・ライフ・ジャパン

薬学部の学生を中心に教職員も参加し、地域のがん患者さんやご家族の方との交流を深め「がん」に立ち向かう想いを学んでいます。



その他 ★ 健康長寿・環境創造・共生社会プログラム
★ 地域教育力向上プロジェクト など

グローバル人材を育成するプログラム

★ 米国薬学・薬学ビジネスプログラム (スプリングセミナー)

春に実施されている本学独自の短期語学研修です。現地では、英語と共に薬学、栄養士の歴史およびそれぞれの制度について学びます。若い力を国際貢献、医療を通じた社会貢献に活かすことを目標にしています。



その他 ★ 英語教育プログラム ★ 海外インターンシップ
★ 語学教育 ★ 海外教育プログラム(JEAP) など

薬学科

School of Pharmacy

[6年制]



人々の健康増進を支援し、
生活に身近な薬剤師に

3年

平川 奈美 さん (埼玉県立浦和北高校)

これからの薬剤師には、薬物治療の専門家としてチーム医療に貢献するほか、かかりつけ薬剤師として患者さんのパートナーになり、地域医療の中心となって人々の健康を支える役割が求められています。薬学科では薬に関する化学的側面をはじめ、健康や医療に関わる病気のメカニズムやその治療法、栄養や食品についての科目が充実。栄養治療に理解ある薬剤師の必要性が叫ばれているなか、薬と栄養のスペシャリストとして、地域に、社会に、医療現場に貢献できる薬剤師を育成します。

学びのポイント

臨床に羽ばたくために しっかりとした基礎固め

体の仕組みや病気の成り立ちを知り、薬を有効・適正に使用できる薬剤師になるために、化学・生物・物理などの基礎科目を低学年からバランス良く実施しています。基礎科目から薬学的センスをしっかりと学ぶカリキュラムです。

食と栄養に強い 薬剤師へ

栄養学や食品機能学も学べます。薬と食事は切っても切れない関係。薬剤師が広く地域のヘルスケアのトータルコーディネーターとして期待されていることを考えると、薬に加えて食と栄養に強い薬剤師のニーズはますます高まってきます。

地域、社会、医療現場に 貢献できる薬剤師へ

フィジカルアセスメントをいち早く教育に取り入れ、患者さんに寄り添う薬剤師の育成をめざします。また専門を超えた領域の人々と交流できる仕組みが整っており、医薬分業と医療の高度化に対応できる、質の高い薬剤師の育成をめざしています。

取得できる資格

◇ 薬剤師 (国家試験受験資格)※

※ 薬剤師資格を取得すれば、医薬部外品、化粧品または医療用具の製造(輸入販売)所の責任技術者、毒物劇物取扱責任者、薬事監視員、麻薬管理者、食品衛生管理者、食品衛生監視員、環境衛生指導員、検疫委員、船舶に乗り込む衛生管理者、外国製造医薬品等の国内管理者などの業務を行うことができるようになります。

めざせる専門職

チーム医療に貢献する病院薬剤師



- 他職種との連携や医師への処方提案
- 治療効果を最大限に引き出す
- 危険な飲み合わせによる副作用から患者さんを守る
- 栄養管理チーム(NST)への参加

在宅医療・地域医療に貢献する薬剤師



- かかりつけ薬剤師として地域住民のパートナーに
- 在宅治療の服薬管理や栄養相談業務
- 薬と栄養による健康予防の相談業務
- 乳幼児のお薬や栄養相談

企業や行政で活躍する医療がわかる職業人



- 医薬品の情報提供
- 医薬品の臨床開発のコーディネーター
- 行政での健康関連業務
- 医薬品の研究・開発

入学前

入学前のサポート

入学前導入教育
フレッシュマンキャンプ



新入生対象の「フレッシュマンキャンプ」を開催。大学生活への不安を解消するほか、医療人としての第一歩を踏み出します。



1年

医療人としての基礎を学ぶ

化学、生物の基礎とヒトの体のしくみ
医療人導入教育／早期薬局体験／不自由体験



「不自由体験」として、高齢者、車いす、視覚障がい者体験を行います。医療人として相手の心に寄り添うための経験です。

2年

薬と体の相互作用を学ぶ

薬の効き方／高度な生物学
栄養を理解する科目
薬の構造や性質を理解する科目



薬学的な知識に基づいて化学成分を扱うことができるよう、有機化学実習や生物系の実習も充実しています。



医療人教育の一環として、地域の方々には模擬(標準)患者さんとして薬学教育に参画いただいています。

3年

薬の知識を身につける

薬の使い方／薬の化学的性質
調剤／衛生系薬学



薬剤師の注射剤業務への関わりが期待されているため、無菌操作室にて、注射剤などを無菌的に調製する方法も学びます。



タイやマレーシア、フィリピンからの留学生と研究を行うなど、アジア諸国と薬学教育・学術連携を強めています。

4年

健康と薬の専門家として磨きをかける

栄養・食品などのアドバンス教育
薬剤師の実践教育
研究室配属

在宅医療に必要な任務のために

これからの薬剤師は、在宅医療の中心となって患者さんのご自宅に赴き、服薬管理や栄養指導・相談を行うことが重要な役割となります。城西大学では、患者さんの健康状態を把握するためのフィジカルアセスメント実習を取り入れ、地域社会で活躍するための能力を養います。



薬学共用試験 (CBT※1、OSCE※2)

※1 CBT: computer-based testing (知識および問題解決能力を評価する客観試験)
※2 OSCE: objective structured clinical examination (態度・技能を評価する客観的臨床能力試験)

5年

病院や薬局での実務実習

共用試験に合格した学生は、5年次、または6年次に病院と薬局にてそれぞれ11週間、合計22週間の実務実習を行います。ここでは薬剤師の指導、監督のもと、実際に調剤や、患者さんへの薬の説明を実施し、現場で働いているさまざまな方と接します。



6年

自己開拓能力の向上

卒業研究
総合演習



卒業研究では課題発見能力や問題解決能力、自らの考えを発信するプレゼンテーション力を身に付けます。



薬剤師国家試験 (2月)

合格へ向けて万全の学習支援体制を用意



薬学共用試験の合格支援

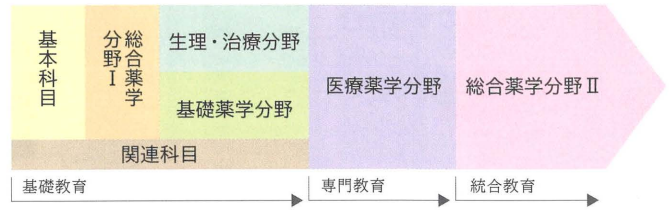
5年次に実務実習へ臨む学生は、薬剤師としての基礎知識と技能・態度を測る薬学共用試験の合格をめざします。そのため、教員は1~4年次の教科目の内容に関するPC演習問題を独自に作成し、学生が自ら主体的に知識・技能・態度を修得できるe-ラーニング環境や実技トレーニング環境を提供しています。

薬剤師国家試験の合格支援

薬剤師国家試験に関連する科目の、6年間の総復習である「薬学総合演習D」や、外部講師による「秋期講習会」、「実力養成講習会」をはじめとして、薬剤師国家試験の直前には、問題演習を中心とした「直前講習会」を実施しています。この間に「模擬試験」を数回実施し、学生自身の成績を研究室主任とともに確認。学生は、研究室主任から学習方法や学生生活等に関する的確なアドバイスを受け、薬剤師国家試験に合格できる学力を養っていきます。

カリキュラム一覧

Curriculum



基礎と臨床のバランスのとれた
幅広い進路に対応するカリキュラム

※カリキュラムは2018年度入学者用
※◎は必修科目

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
基本科目	◎フレッシュマンセミナー(薬学)A ◎フレッシュマンセミナー(薬学)B ◎コミュニケーション基礎英語A ◎コミュニケーション基礎英語B ◎コミュニケーション基礎英語C ◎コミュニケーション基礎英語D					
総合薬学分野 I	◎薬学概論 ◎生物学入門 基礎化学 基礎物理学 薬学数学	ボランティア体験 総合生物 ◎薬学総合演習 A	◎看護/介護/社会福祉演習 ◎薬学総合演習 B			
基礎薬学分野	◎化学A ◎化学A 演習 ◎生物学A ◎生物学B ◎細胞生理学 ◎化学B ◎化学B 演習 ◎物理化学A ◎微生物学 ◎基礎有機化学演習 ◎生化学A ◎生化学B ◎薬学実習A (コンピュータ活用を含む) ◎薬学実習B	◎物理化学B ◎有機化学A ◎有機化学B ◎分析化学A ◎分析化学B ◎病原微生物学 ◎免疫学 ◎生薬学 ◎薬学実習D	◎公衆衛生学A ◎有機化学C ◎生化学C ◎医薬品化学演習 ◎生物有機化学演習 ◎生物統計学演習 有機化学演習	◎コミュニケーション体験演習		
生理・治療分野	◎解剖学 ◎生理学A 医療における栄養	◎生理学B ◎基礎薬理学 ◎薬理学A ◎基礎栄養学 ◎病態学 ◎解剖学演習 ◎薬学実習C (コンピュータ活用を含む) 化粧品・医薬部外品学A 食品機能学A	◎薬物治療学A ◎薬物治療学B ◎薬理学B ◎薬理学C ◎毒性学A ◎毒性学B ◎病態学演習A ◎病態学演習B ◎薬学実習E 栄養学 化粧品・医薬部外品学B 食品機能学B	◎薬物治療学C ◎医療栄養学	◎医薬品情報学 ◎製剤材料学 ◎製剤管理学 ◎薬物治療演習 ◎調剤処方演習 コミュニティファーマシー インターンシップ	◎薬毒物分析(演習を含む)
医療薬学分野		◎物理薬理学A ◎物理薬理学B	◎調剤処方学 ◎生物薬剤学 ◎薬物動態学 ◎漢方薬 ◎薬学実習F 臨床心理学 天然物化学			
総合薬学分野 II		◎薬学英語入門	◎コミュニティファーマシー論 ◎薬剤師関係法制度概論 ◎実用薬学英語	◎卒業研究 新薬開発論 公衆衛生学C 治験・統計学	医薬品・食品・化粧品マーケティング論 バイオインフォマティクス データ解析とコンピュータ活用 医療ボランティア	◎医薬品開発・治験論 ◎社会保険制度・ コミュニティファーマシー論 ◎薬学総合演習D ◎コミュニケーション・ プレゼンテーション ◎学内実務実習演習
関連科目	国際グローバル研修 など	数理解析A・B など	資格英語ⅡA・B 資格英語ⅢA・B			

※1 CBT: computer-based testing
(知識および問題解決能力を評価する客観試験)
※2 OSCE: objective structured clinical examination
(態度・技能を評価する客観的臨床能力試験)

薬剤師国家試験
合格への学習支援

1年

2年

3年

4年

5年

6年

薬学共用試験
(CBT^{※1}、OSCE^{※2})
合格への学習支援

基本科目

総合薬学分野 I

基礎薬学分野

生理・治療分野

総合薬学分野 II

関連科目

カリキュラムの中から注目授業をPICK UP

1 効果的な薬はどんな形？

基礎有機化学演習

多くの薬は有機化合物であり、私たちの体も有機化合物の集合体です。薬が効果を示すためには、薬の“形と反応”が重要であることから、薬の基本となる有機化合物の“形・構造”と“化学反応の基礎”について学びます。



2 外部から侵入した異物に体はどう反応する？

免疫学

私たちの体を病原体から守っている免疫系の仕組み、また、免疫系が関わる代表的な疾患について学びます。さらに、抗体医薬品、ワクチン、抗体を利用した検査法に関する基本的な知識も身につけます。



3 専門職連携によるチーム医療はどうすればできるの？

薬学総合演習A・B (特別編として、本科目の一部の日程で実施)

将来、専門職(多職種)の連携・協働によるチーム医療を実現するために、その基礎となるヒューマンケアやIPW論(Interprofessional Work:多職種連携実践)などの連携力を養う演習を行います。これらの演習を、2学年にまたがって行うことで、ゆとりと、しかし確実に連携力を身につけることが可能となります。



4 薬剤師に必要な栄養学とは？

医療栄養学

基礎栄養学と臨床栄養学を学んだ後の本格的な栄養学演習です。各自が患者のストーリーと病気の経過を作成します。各症例を学生同士で議論し、最適な栄養治療計画を立案します。実践形式の演習で、学生の能力を120%引き出します。



5 遺伝子をどうやって取り扱う？

薬学実習F

現代の医療や医薬品の開発・生産には、遺伝子を取り扱う技術が不可欠なものになっています。実習ではDNAの抽出から増幅、遺伝子組み換えの基礎まで多様な項目を通して遺伝子を取り扱い方を体験します。あわせて、遺伝情報を個人情報の一つと捉え、医療人として遺伝情報を取り扱う責任と重要性を学びます。



6 治療における薬剤師の関わり方とは？

薬学総合実習・演習

基本的な調剤技術を学ぶため、実習用処方せんに従った調剤にチャレンジします。薬物治療、処方解析、服薬指導、調剤監査など、薬局業務に関わる基礎事項を学びながら、病気とその治療に対して薬剤師がどう関わっていくかを考えます。



研究室

Laboratory Report

副作用の少ない薬の送達システムがテーマ。問題解決能力を養うことも研究の目標のひとつ。

製剤学研究室

担当教員 夏目 秀視 教授 / 内田 昌希 准教授 / 八巻 努 助手

薬を効果的に脳へ届ける方法として、鼻からの投与が注目されています。

製剤学研究室では、薬を効果的に患部に届けるシステムを研究しています。中でも私たちが力を入れているのが鼻の粘膜から吸収する経鼻投与という方法です。口から飲んだり注射したりする薬には、体の中で即座に分解され、患部に届く量はわずかなものがあります。患部に届けるために投与量を増やせば副作用の可能性も増します。しかし、鼻粘膜は薬物の吸収性が高く、より少ない量で効果を発揮することができるのです。特に、鼻は脳に近く、鼻から直接脳へと薬が移行することが期待できます。どのような性質の薬が鼻から脳へ移行しやすいのか、どのような製剤を開発すれば脳へと効率的に移行するか、テーマはつきません。また、鼻粘膜からの薬物投与は、たとえば成長ホルモンのように、これまで注射でしか使えなかった分子量の大きい薬物にも適しているなどさまざまなメリットがあります。

人生において必要と多くのご研究を通して学んでほしいと願っています。

研究室では、より良い薬物治療の方法を研究することを通して、問題解決の力を養い、仲間と協力して課題を乗り越えるチームワークの大切さなども学んでほしいと思っています。そのために、私自身も学生との対話を重視し、可能な限り多くの時間を学生と共有しようと心がけています。医療の現



MESSAGE

コミュニケーション能力をはじめ総合的な力が期待されています。

超高齢社会において薬を正しく服用してもらうためには、知識だけでなく、幅広い世代の人に対応できるコミュニケーション能力が欠かせません。研究室での活動を通して、チーム医療の一員として信頼される存在となるための総合力を養ってほしいと思います。

場では患者さんを中心とした個別化医療へと移行していきましょう。服用した薬が体に吸収される割合をはじめ、薬が体内で分解され、排泄される速さなどは人によって千差万別です。そうした患者さん一人ひとりの体に合わせた薬物治療が今後ますます重要になっていくことを知り、研究室で身につけた力を、医療の現場や広く社会の中で生かすことを期待しています。

主な研究テーマ

- Polycationsによる高分子医薬品の経鼻吸収促進機構に関する研究
- Polycations-機能性化合物複合体の調製に関する研究
- 種々薬物の経鼻送達システムの開発に関する研究
- 鼻腔内投与による脳内送達システムの開発に関する研究
- *In vitro*におけるテープ剤の粘着性評価法の開発に関する研究
- マイクロ及びナノパーティクルを用いた薬物送達に関する研究

薬学科には、次のような研究室があります。

生体分析化学研究室、公衆衛生学研究室、衛生化学研究室、製剤学研究室、製剤学研究室、病原微生物学研究室、臨床薬理学研究室、薬物物理化学研究室、病院薬剤学研究室、薬剤作用解析学研究室、医薬品安全性学研究室、臨床病理学研究室、生化学研究室、生理学研究室、薬品作用学研究室、医薬品化学研究室、有機薬化学研究室、薬局管理学研究室 など

“ 早期体験で薬剤師の責任の重さを感じました ”



櫻井 瞳 さん

(茨城県立水海道第一高校)

花粉症の症状が薬によって軽減したことがきっかけで医薬品に興味を持ち、薬学科に進学しました。カリキュラムには栄養を専門とする先生の授業もあり、在宅医療が増えていく今後、薬剤師に欠かせない栄養学の基礎を学ぶことができます。「化学A」という講義では、高校で学んだ原子の構造が、なぜそうなるのか理由まで理解でき、手応えがありました。また、早期体験では、薬局薬剤師の仕事場を見学し、やりがいと責任の重さを感じました。これまでは病院薬剤師を希望していましたが、患者さんに近い存在として信頼されている様子やミスを二重三重に防ぐ工夫、病院との連携などを知って、選択肢が広がりました。IPW実習(→P.06)のように他の医療系の大学と学ぶ機会もあるので、チャンスがあれば積極的に参加し、薬学以外の視点を得ることに役立てたいと考えています。

1年 My Campus Life

フレッシュマンキャンプがあるので安心

入学前に1年生だけで1泊する「フレッシュマンキャンプ」があり、すぐに友人ができて安心しました。また、入学後の「フレッシュマンセミナー」ではグループワークで意見を分りやすく伝える大切さを学ぶことができ、毎回違うグループを組むため一気に知り合いが増えました。

“ 研究で身につく力は仕事にも役立つはず ”

久保田 亮翔 さん

(青森県立三本木高校)

城西大学の薬学科は、薬とともに栄養学も学べるという特徴があります。薬には副作用もあるため、患者さんの負担を減らすためには、可能な限り栄養面で改善していく必要があります。授業で、例えばビタミンが不足しただけでも体に大きな影響があることを知ると、栄養の重要性を痛感します。2年次に学んだ「有機化学」では、構造式からその物質の性質・作用や体内での代謝を予想できる力が身につく、薬物療法のための重要な科目だったと感じています。3年次からは薬品物理化学研究室に所属し、ドラッグデリバリーシステムを研究するため、前提となる実験のスキルを学んでいます。今後は研究を深める中で、課題を発見する力や自ら調べ考える力をさらに磨いて、一人ひとり症状が異なる患者さんに合わせた治療を提案できる薬剤師になりたいと思います。



校内の制度を活用して米留学

2年次の終わりにカリフォルニア大学リバーサイド校に短期留学しました(米国薬学・薬学ビジネスプログラム →P.06)。現地で英語を学ぶほか、病院や製薬企業を見学しました。米の薬剤師免許には更新制度があり、そのため常に時代に即した知識が求められることを知り、私もその姿勢を見習って学び続けようと思いました。

4年 My Campus Life

“ 実習は学んできた知識を確かめるチャンスです ”

伊藤あゆみ さん

(埼玉県立伊奈学園総合高校)

5年次の薬局実習では、指導薬剤師の方の対応に習い、相手の気持ちになって接することの大切さを学びました。患者さんには早く帰りたい方、ゆっくり話したい方、いろいろなので、様子や言葉から判断することも重要です。特に、お年寄りには薬が変わっただけでも不安になられてしまうことが多く、学んできた知識を自分の言葉にしてお話するように心がけました。研究室では、パーベキューなどのイベントもあり、交流を深めながら学んでいます。研究テーマも決まり、先輩の成果を引き継いで、吸収促進剤による水溶性高分子薬物の粘膜透過性について研究を深めることが目標です。次に行う病院実習では、患者さんのベッドサイドにも向かうため、薬剤師として、社会人として、態度や言葉遣いにも注意しながら、さまざまな症例に対応する病院薬剤師の業務を経験したいと思っています。



5年 My Campus Life

視野が広がる総合大学

他学科や文系学部の友人と知り合えるのは総合大学ならではの、4年制の友人が一足先に就職活動をしている姿を見ると気持ちが引き締まります。研

究室では、先輩と話す中で、多様な進路があることをあらためて感じ、薬局だけでなくメーカーも視野に入れて考えようと思っています。

櫻井 利成 さん

2014年卒業

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 勤務



薬剤師

私の仕事

薬剤師や薬局の役割が広がるなか責任も重いことを自覚

調剤や窓口での対応のほか、患者さんのご自宅を訪ねて服薬などに関する管理を受け持つ^①在宅訪問を行っています。高齢者の方や、病状によって外出が難しくなった方に薬を届けるかたわら、その体調も確認しています。そして、問題が見られるようなら医師と連携をとりつつ、患者さんを見守るのが私の役割です。高齢化が進む今後の社会に向けて、薬剤師の仕事にも変化が訪れ始めている今、自身に課せられた責任の重さは常に意識させられます。しかし、そのぶん患者さんの笑顔とともに感謝の言葉をいただく、「自分の役割をまっとうできた」と充実感が得られます。

大学時代

実験や実習を通して身につけた判断力、行動力でスキルアップをめざす

私が今も大切にしているのは、「自分で考え、判断し、それを実行に移す」という大学時代に身につけた姿勢です。シンプルですが、それだけに続けていくことは難しくもあります。しかし、これから薬剤師としてスキルアップしていくためにも、この信念を貫きたいと思います。そのうえで、**患者さんとの会話**も大切にできる薬のスペシャリストとして、活躍し続けたいと思います。

ココが Point

① 在宅訪問

通院が困難な患者さんのお宅を訪問し、薬の正しい飲み方の説明や副作用・相互作用の確認、保管方法の説明などを行います。自宅療養中の患者さんの薬物治療が適切に行われるように、薬剤師の立場から在宅医療を支えます。

② 患者さんとの会話

在宅医療、地域医療といった分野にも貢献できる人材を育てるため、コミュニケーション能力や他の医療スタッフとの連携に関わる科目の充実を図っています。研究室での討論も、考えを分かりやすく伝える力を養う場になっています。

本学科の卒業生

Graduates

安田 優子 さん

2013年卒業

国立大学法人 東京大学医学部附属病院 薬剤部 勤務



薬剤師

私の仕事

業務を早く正確に行うとともに、薬剤師の視点からチーム医療に貢献

当病院の薬剤部では毎日約1400枚の処方せんに対応しているため、正確さと安全性に加えて、スピードも重要です。最近では、副作用の早期発見や処方提案など、**薬剤師の専門性**に期待される場面も多く、チーム医療への貢献も求められています。忙しい毎日の中で、患者さんの負担が少ない薬の服用法を考え、喜んでいただいたときは仕事のやりがいを感じます。入社して5年が経ち、今後は自分の経験をもとに後輩の育成にも力を注ぎたいと思っています。

大学時代

学び続ける姿勢の大切さを心に刻んだ大学時代

大学では、薬剤師経験のある先生方の体験談なども含めて将来をイメージして学ぶことができました。現在の職場を選んだのは、群馬大学の附属病院で行った^②学外実習がきっかけです。抗がん剤の調製や輸液の混合など、大病院でなければできない経験ができ、実習で学んだことを生かせる場で仕事をしたいと希望しました。印象に残っているのは小林大介先生の「薬剤師は一生勉強」という言葉です。薬も医療の方法も日夜進歩している中、城西大学で身につけた学び続ける姿勢は、いまでも私の確かな支えになっています。

ココが Point

① 薬剤師の専門性

新しい医薬品やジェネリック薬品、ハイリスル薬などが登場する中、薬剤師でなければできない仕事も増えています。社会で活躍する力を養うため、6年間をかけて基礎から実践まで総合的に学ぶカリキュラムがあります。

② 学外実習

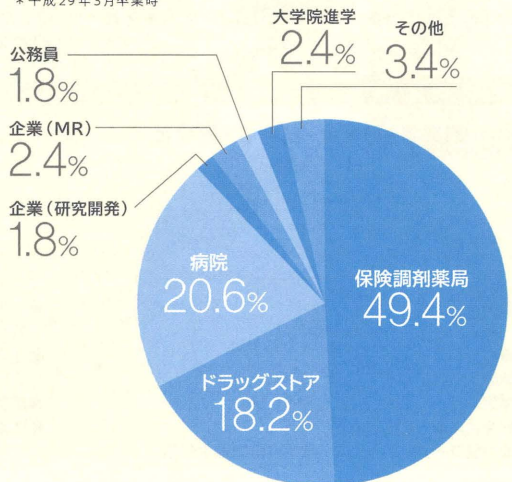
薬学科では5年次に病院・薬局で11週間ずつ実習を行います。埼玉県内や近隣県などの病院や薬局と提携し、多様な実習先を用意しています。現場で働いている薬剤師の姿から多くのことを学びとるチャンスです。

最近の主な進路

- 保険調剤薬局：アイセイ薬局、アイリスファーマ、アイングループ、アシスト、アビック薬局、杏仁薬局、ウィーズ、SFC薬局、SCグループ、オムニバスグループ、カイエー薬局グループ、かくの木薬局、クオール、クラブ、小島薬局、ダイトク、タウンメディカル、田無薬品、秩父薬剤師会調剤センター、デイズプランニング、日本生化学研究所、日本調剤、日本メディカルシステム、パル・オネスト、パワーファーマシー、ファークロス、ファーマみらい、ファーマライズホールディングス株式会社、フォーラル、富士薬局グループ、みよの台薬局グループ、メディック、友愛メディカル、雄飛堂、よこて薬局、総合メディカル、日本アボック、薬樹 など
- ドラッグストア：イオンリテール、ウエルシア、ウェルパーク、カワチ薬品、クリエイト エス・ディー、ココミン、ココカラファイン、サンドラッグ、スギ薬局、セキ薬品、千葉薬品、ツルハ、トモズ、ハックドラッグ、富士薬品、マツモトキヨシ など
- 病院：IMSグループ、上尾中央総合病院、伊豆赤十字病院、医療生協さいたま、牛久愛和総合病院、川口市立医療センター、亀田総合病院、関東中央病院、黒沢病院、済生会宇都宮病院、埼玉医科大学病院、埼玉協同病院、埼玉県病院局、さいたま市民医療センター、自治医科大学附属病院、長野県立病院機構、星総合病院、武蔵村山病院、丸山記念総合病院、戸田中央医科グループ、小川赤十字病院、東京大学医学部附属病院、徳洲会、博慈会記念総合病院、浜松医療センター、府中恵仁会病院 など
- 企業（研究開発）：エイツヘルスケア株式会社、長野製薬株式会社、パレクセル・インターナショナル など
- 企業（MR）：日本イーライリリー、エスアールディ、大正富山医薬品、トーアエイヨー など
- 公務員：埼玉県 など
- 大学院進学：城西大学大学院薬学研究科博士課程 など
- その他：メディセル、LIFE-NP、じほう、クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン など

進路の内訳

*平成29年3月卒業時



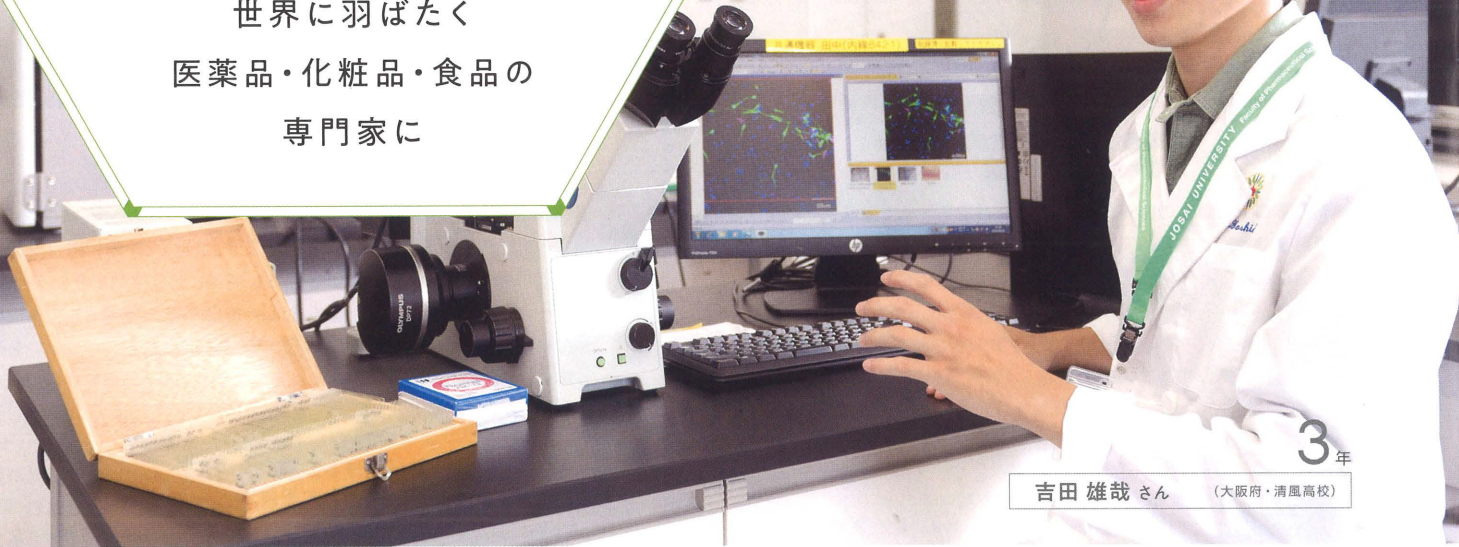
薬科学科

Department of **Pharmaceutical Sciences**

[4年制]



世界に羽ばたく
医薬品・化粧品・食品の
専門家に



3年

吉田 雄哉 さん (大阪府・清風高校)

機能性化粧品や機能性食品、サプリメントの利用など、健康への注目が高まるなか、それらの有効性だけでなく、安全性という側面からも医薬品・化粧品・食品をプロデュースできる研究者・技術者の育成が重要です。薬科学科では解剖学や生理学など、人の生命や健康を基礎からしっかりと理解したうえで、医薬品・化粧品・食品がどのように生理機能に働きかけるかを学ぶことで、有効性だけでなく安全性も担保された製品の研究・開発に必要な知識、技術を身につけることができます。特に皮膚生理に着目した教育・研究は薬科学科の特徴でもあり、産業界からも大きな注目を受けています。薬科学科では高度な知識と技術を備え、かつ「生活者」視点で人々の健康増進に寄与できる専門家を育成*します。

*4年制薬学課程修了者に対して、一定条件のもと認められていた薬剤師国家試験受験資格の経過措置が、2018年度の入学者から廃止されました。そのため、薬科学科を卒業しても薬剤師国家試験受験資格を取得できませんのでご注意ください。

学びのポイント

体と化学物質の関係を見極められる 薬科学研究者・技術者へ

医薬品だけでなく、化粧品、機能性食品、生活化成品なども、化学物質でできています。人の体と化学物質の関係について学び、考え、医薬品・化粧品・食品の研究開発ができる薬科学研究者・技術者を育成します。

化粧品の開発・製造・販売に 関わる専門家へ

皮膚生理に働きかけて健康に保つことを目的とした「機能性化粧品」が話題になっています。そうした強い生理効果を持った化粧品の安全性をチェックしたり、開発・製造・販売に関わることのできる専門家を育成します。

臨床検査の知識を持った 薬科学研究者・技術者へ

生活者のQOLを高く維持する製品の研究開発においては、健康状態を正確に判断するために臨床検査の知識が必要です。薬科学科では臨床検査の知識・技術を兼ね備えた研究者・技術者の育成もめざしています。

就ける仕事

研究者・開発者・技術者・管理者



- 医薬品関連、化粧品・機能性化粧品、機能性食品などの研究者または開発者
- 生命科学関連の研究者
- 臨床検査の素養をもった薬科学技術者
- 医薬品、化粧品、食品、生活化成品の安全性に関わる技術者
- 治験コーディネーター ● 放射線取扱主任者

営業・販売者



- ヘルスケアや美容に関する知識を備え、適切にアドバイスができる販売者
- 生活化成品の安全性についてアドバイスできる販売者
- 医薬品情報担当者(MR)
- 医薬品、化粧品、食品、生活化成品企業の営業職

教育・行政機関



- 中学校・高等学校教諭
- 医薬品審査行政
- 医療薬事行政公務員
- 保健所職員
- 麻薬管理者・麻薬取締官
- 毒劇物監視員・取扱主任者

入学前

入学前のサポート

入学前導入教育
フレッシュマンキャンパス

科学の基礎を理解し、 興味の幅を広げる

医薬品・食品・化粧品概論などの導入科目
化学、生物学、物理化学などの基礎科目
薬科学実習(コンピュータ活用を含む)
セメスター留学

1年

薬科学の基礎を理解する・ 興味のある分野を探究する

化粧品・香粧品学、機能性食品科学などの専門科目
栄養生理学
天然資源学

2年

早期配属制度 2年次から研究できます。

興味に応じて専門の学びを深める

薬科学実習
医薬品・食品・化粧品製造論
ハーブ論
病理組織細胞学

3年

特例受験

薬科学の専門家として磨きをかける

薬科学卒業研究

4年

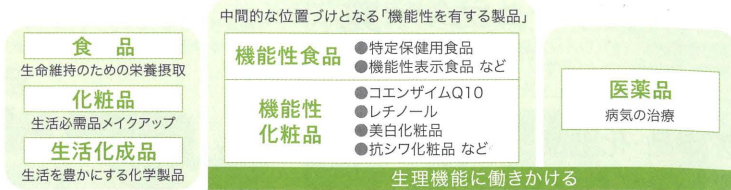
支援している資格

- 臨床検査技師(国家試験受験資格)(※1)
- 放射線取扱主任者
- 危険物取扱者
- 理科教諭(※2)
- 登録販売者
- ビューティケアアドバイザー
- ヘルスケアアドバイザー
- 健康食品管理士

**ドラッグストアで
勤務する際
有利な資格**

薬科学科で学べる製品分野

将来は、医薬品・化粧品・食品・生活化成品の研究・開発・製造・販売に携わることができます。



セメスター留学体験

1年次後期の9月から翌年1月までの1セメスターを海外姉妹校(マレーシアのマネージメント・科学大学)で過ごすプログラムです。現地での講義や試験を英語で受けて単位を修得します。薬学領域で用いられる専門用語を学べるため、将来、研究・開発職をめざす人や、グローバルに活躍したい方はもちろん、多種多様な文化や歴史を知り、国際的な視野を養いたい人にもおすすめです。



化粧品や医薬品製剤を作り、作製のための基本的な技能や、有効性を探るための評価技能を修得。またデータ解析も学びます。



化粧品の商品開発に関わる研究者が講義を行うことも。現場の最前線の技術解説や意識、チャレンジの声を聞くことができます。



薬学の観点から安全性や機能性を考慮した基礎化粧品、洗顔石鹸、ハンドクリームやハーブティーなどの創製、販売もを行っています。



「ハラル化粧品」を開発

埼玉県内の化粧品製造業者とともに、『動物由来成分もアルコールも一切入っていない』ハラル化粧品を開発。本取り組みは、インバウンド需要が増加するなか、化粧品市場のさらなる拡大に貢献しています。

写真は、マレーシアのダト・スリ・イドリス高等教育担当大臣(写真右から2人目)がハラル研究センターの調印式に出席され、本学で開発中のハラル化粧品を見学されたときの様子です。

向学心を応援する柔軟な制度

◆早期配属制度

通常は3年次後期に所属研究室を決定しますが、研究に興味があり、成績上位の学生は、希望があれば2年次より研究室に所属し、卒業研究を始めることができます。

◆特例受験

極めて成績優秀で、3年次終了までに卒業可能科目数及び単位数をほぼ修得している場合、特別に大学院(※3)への入学試験の受験を認める場合があります。

◆副専攻制度

学部学科を超えて学ぶ「副専攻制度」。経済学、経営学、理学など各学部の講義を受講することが可能です。研究・開発・製造・販売に関わるための視野を養います。

新たな研究成果へ向かって専門を深める

薬科学科の研究紹介

機能性食品科学研究室

セルメディケーションの重要性が増す中、食品の機能性が注目されています。当研究室では、生活習慣病やエイジングに対して効果を示す食品、ハーブ類の機能性成分を分析し、細胞実験などにより効果のメカニズムを解析しています。特に、食品成分がマウス骨髄中の体幹細胞の分化能に及ぼす影響を調べることで、食生活の長期的影響を科学的に評価することに注力しています。一方で、植物による機能性成分の効率的生産法の確立をめざしています。

生薬学研究室

医薬品の多くは、植物や微生物が生産する天然物をヒントに開発されています。また、漢方薬は植物や動物をそのまま、または簡単に加工したものを使用しています。私たちの研究室では、このような天然物から医薬品の候補となる化合物を見出すことをめざして研究しています。研究室に所属した学生には、天然物研究を通して医薬品開発の一端を担ってもらいたいと思います。

薬粧品動態制御学研究室

飲み薬と注射に代わるものとして、「微小医療機器付製剤」を皮膚中や皮膚上に適用し、インターネットを介して薬を投与する、全く新規で20年後には医療の中心を担う医薬品製剤となるべき「薬物送達システム」について研究を始めました。また、動物実験なしに新規な医薬品・医薬部外品・化粧品を開発する方法を見出す研究も行っています。

生物有機化学研究室

さまざまな有機化合物が天然物中に存在し、その生成過程は、酵素の働きや太陽光の作用などさまざまな化学反応を含んでいます。そこで、有機化学反応を基本に生成過程を考え、新たな化合物の生成やこれら化合物が新たな機能を持つことを仮説として立て、生物体が生成し得る有機化合物を合成し、医薬品開発につながる生理機能の探索や天然物成分としての探索を進めています。

皮膚生理学研究室

化粧品や機能性化粧品が研究開発・販売されていますが、その有効性や安全性を把握する上では、それが皮膚の中でどのように作用しているかを科学的に明らかにする必要があります。当研究室では、皮膚中セラミドの生成・代謝研究、ヒアルロン酸やコラーゲンの生成調節における研究、生活習慣病皮膚の生理学的研究などを通して高度な専門性と研究能力を有する人材の育成をめざしています。

生物薬品科学研究室

胃粘膜を構成しているさまざまな細胞の分離・培養法を確立するとともに、細胞内のCa²⁺濃度変化を観察しながら粘液、酸、ペプシノーゲン分泌機序を解明し、医薬品の作用や細胞毒性について研究しています。さらに、消化管ホルモンと上部消化管運動との関係や糖鎖認識タンパク質の生理作用の解明、消化性潰瘍や胃炎を引き起こすピロリ菌の除菌を目的とした物質の探索などを行なっています。



栄養生理学研究室

脂質は日常摂取する栄養素の一つであり、細胞膜構成成分やエネルギー貯蔵体としてだけでなく、特異的な受容体や輸送担体を介して生体機能の発達・成長・維持に関与しています。本研究室では、このような脂質の多彩な機能を解明することで、このような生体機能の変化や疾患の予防・治療に役立つ研究をしています。研究を通して将来薬のターゲットとなるような現象の発見をめざしています。

※1 厚生労働大臣の指定を受けた科目を修得することで、臨床検査技師国家試験の受験資格を得ることができます。

※2 教職課程の授業単位を修得することで、卒業時に教育職員免許状を取得できます。・中学校教諭一種免許状(理科)・高等学校教諭一種免許状(理科)

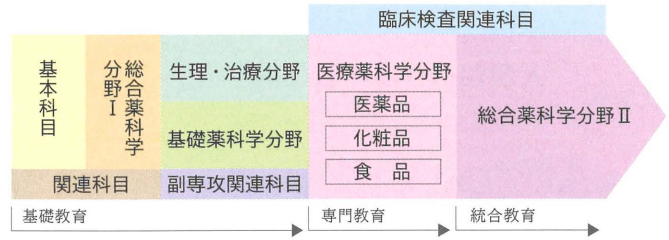
※3 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程

カリキュラム一覧

Curriculum

医薬品・化粧品・食品について
幅広い知識を総合的に学ぶ

※カリキュラムは2018年度入学者用
※◎は必修科目



1年	2年	3年	4年
<p>基本科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎フレッシュマンセミナー(薬科学)A ◎フレッシュマンセミナー(薬科学)B ◎コミュニケーション基礎英語A ◎コミュニケーション基礎英語B ◎コミュニケーション基礎英語C ◎コミュニケーション基礎英語D 	<p>総合薬科学分野 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎医薬品・食品・化粧品概論 ◎薬学数学演習 基礎生物学 基礎物理学 基礎化学 	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎化学A ◎化学B ◎生物学A ◎生物学B ◎物理化学A ◎微生物学 ◎基礎有機化学A ◎基礎有機化学B ◎生化学A ◎薬科学実習A(コンピュータ活用を含む) ◎薬科学実習B 	<p>生理・治療分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎解剖学 ◎生理学A
	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎天然資源学 ◎有機化学A ◎有機化学B ◎分析化学 ◎機器分析学 ◎生化学B ◎免疫学 ◎生物統計学 ◎薬科学実習D 物理化学B 病原微生物学 生薬学 生化学C 	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基礎薬理学(細胞生理を含む) ◎薬理学A ◎基礎栄養学 ◎化粧品・化粧品学A ◎機能性食品科学A ◎薬科学実習C(コンピュータ活用を含む) 生理学B 栄養生理学 化粧品・化粧品学B 臨床化学 臨床生理学A 病態学A 	<p>生理・治療分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎薬科学実習E 臨床薬理学・薬理学B 薬理学C 毒理学A 毒理学B 機能性食品科学B ハーブ論 臨床分析学 臨床生理学B 診断放射化学 病理組織細胞学 臨床検査学 病態学B 薬膳・機能性食品科学実習
	<p>医療薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎薬剤学 物理薬剤学 	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎薬科学実習F 生物薬剤学 薬物動態学 製剤学 医用工学概論 セルフメディケーション論 臨床心理学 漢方薬 天然物化学 	<p>生理・治療分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎薬科学卒業研究 公衆衛生学B 公衆衛生学C
	<p>総合薬科学分野 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基礎薬科学英語 	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> メイクアップ論 応用薬科学英語 	<p>基礎薬科学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎医薬品・食品・化粧品製造論 医薬品開発論 薬事・食品衛生関連法規 バイオインフォマティクス 医薬品・食品・化粧品マーケティング論 実践薬科学英語
		<p>企業インターンシップ I</p> <p>企業インターンシップ II</p>	
		<p>医薬品情報・マネジメント概論A</p> <p>医薬品情報・マネジメント概論B</p>	
		<p>薬学韓国語</p> <p>薬学中国語</p> <p>海外薬学英語研修 I</p> <p>海外薬学英語研修 II</p> <p>海外薬学英語研修 III</p>	
		<p>臨床検査関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床検査総論A 臨床検査総論B 医療安全管理学 医用工学概論実習 	<p>臨床検査関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 血液学 寄生虫学 臨床化学実習
	<p>副専攻科目</p>	<p>医薬品情報・マネジメント概論A</p> <p>医薬品情報・マネジメント概論B</p>	
	<p>関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理学 I 国際グローバル研修 など 	<p>関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 数理解析A・B など 	
		<p>資格英語 II A・B</p> <p>資格英語 III A・B</p>	

4年

3年

2年

1年

臨床検査技師国家試験合格への学習支援

※臨床検査学領域の科目を修得することで、受験資格を得ることができます。

課外活動

食品医薬品相互作用論

カリキュラムの中から注目授業をPICK UP

1 大学で学んだことは社会でどう活かされる？

フレッシュマンセミナー(薬科学)A・B

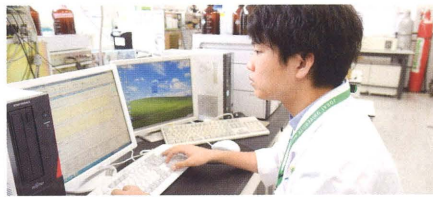
今、大学で勉強していることは、実際の現場でどう活かされているのだから？ 医薬品・化粧品・食品メーカーの工場や施設の見学、学科内の研究室での研究体験を通して、製品の研究・開発・生産の魅力と重要性を体得します。



2 研究・開発に必要なデータ解析とは？

生物統計学

医薬品の開発、薬剤疫学を学びます。たとえば、研究の方法論や得られたデータの解析方法、その評価に必要な統計学を修得します。



3 化粧品を研究・開発するのに必要な実験とは？

化粧品・化粧品学A・B

安全性に気を配ることはもちろん、それぞれの使用者に合った使い方で、化粧品を学ぶことは幅広いものです。この授業では、健康な肌・健康でない肌の違い、化学品としての化粧品の功罪、最適な使用法まで、「化粧品とは何か」の基礎を学びます。



4 食品と薬の間には何がある？

機能性食品科学A・B

食品には、栄養を補給する、おいしさを堪能させる、生活習慣病などの病気を予防するなど、さまざまな機能があります。この授業では、食品が体に及ぼす影響を考え、食品・医薬品の中間に位置する「機能性食品」について学びます。



5 製品化のためのプロセスとは？

医薬品・食品・化粧品マーケティング論

医薬品、機能性食品、化粧品に関し、アイデア・製品・サービスのコンセプト、価格また流通を計画・実行するプロセスについて学びます。



6 薬科学科4年間の集大成！

薬科学卒業研究

薬科学科のカリキュラムの中で一番大切な科目です。与えられた研究テーマについて「進め方を自分で考え、実際に自分で推進する」、職業を問わず社会人として活躍するために必要な最も基本的なスキルを、卒業研究を通して身につけていきます。



研究室

Laboratory Report

化粧品の有効性や安全性を考える上で重要な皮膚中での現象を生物学・生化学的に解明する。

皮膚生理学研究室

担当教員 徳留 嘉寛 教授

主体的に課題に取り組み、新たな発見に出会えることが研究のよろこび。

皮膚生理学研究室では、化粧品を人に使用した時、皮膚の中でどんな現象が起きているかを明らかにしようとしています。これを解明することは、化粧品の有効性や安全性を考える上でとても重要です。学生は、まだ明らかになっていない課題から、各自が興味のあるテーマを選んで研究に取り組んでいます。自ら考え、実験を重ねることで、新たな発見に出会えたときのよろこびは格別でしょう。また、一方で製薬や化粧品企業との共同研究も盛んに行っています。粘り強く取り組む大学の研究と、効率や市場環境を意識した企業の研究開発。その両者の視点を取り入れ、研究に対する社会の期待や社会人に求められる資質を知ること学ぶの一つです。ゼミや研究報告会など、発表の場では、コミュニケーション力やプレゼンテーション力、論理的な思考を養うことができます。

消費者の安全と安心を守ることが薬学部で化粧品を学ぶ意義です。

化粧品は法律上、「美白」「薬用」といった効果をうたうことはできません。しかし、世の中に存在する化粧品は効果を期待するものが多いのも事実です。製剤の工夫によって皮膚浸透性を高めた機能性化粧品なども登場していますが、主作用があれば必ず副作用があることは薬学の基本です。効果を期待す



MESSAGE

自ら行動し、学ぼうとする学生に対して私たちは応援の手を惜しみません。

大学は自ら学ぶ場であるべきだと思っています。自ら積極的に行動し、その行動に責任を持つことで、人は成長します。私たち教員の役割はその決断をサポートすること。積極的に行動する学生に対しては、できる限りのケアをすることを約束します。

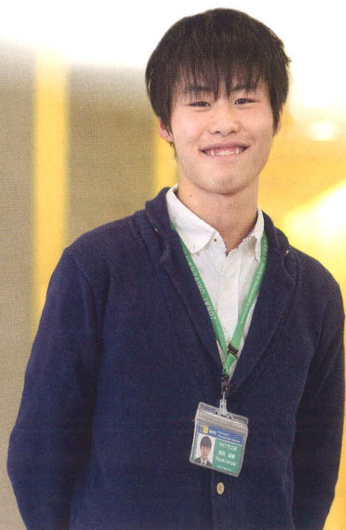
る裏側には、そうした危険性があることをよく理解し、消費者の安全と安心を守る姿勢を育てることが、薬学部で化粧品を研究する大きな意味であると考えています。人体のしくみを理解した上で、化粧品の開発を行うことのできる人は、まだまだ多くありません。化粧品としての有効性と、人への安全性。その両面を常に意識して研究にあたってほしいと願っています。

主な研究テーマ

- スフィンゴミエリン合成酵素欠損マウスの角層バリア構造および機能に対する影響
- 多糖ナノ粒子の処方設計と皮膚浸透性
- ファンデルワールス引力を利用した新規乳化物の皮膚浸透に対する影響

- スフィンゴシンの角層中セラミド含量に及ぼす影響
- 皮膚バリア機能に対するスフィンゴミエリンの役割
- 皮膚糖化のバリア機能に対する影響

“ 小さな疑問や気づきを大切に学んでいます ”



安西 龍毅 さん

(神奈川県・桐蔭学園高校)

歴史のある薬学部であり、薬科学科は医薬品、化粧品、食品など多様な分野に進むことができると感じて入学を決めました。1年次は基礎的な科目が多いのですが、先入観をできるだけ持たず、どんな授業でも集中して前向きに取り組むようにしています。少人数のため先生との距離が近く、研究室に質問に行くと理解できるまで丁寧に指導していただけるなど、相談しやすい環境も魅力です。カリキュラムは選択の自由度が高く、関心がある分野を中心に履修できます。どの科目も自分で選んだだけに講義の時間がとても短く感じられるくらい充実しています。目標は、希望する研究室に入れるように、まずは基礎的な学力をつけること。小さな疑問にも研究のヒントがあると思い、講義の中での気づきを大切に目の前の一つひとつの課題に一生懸命取り組んでいます。

1年

My Campus Life

漢方研究会で発表しました

7月にはハーブティーの効能について調べ、実際にいくつもの種類を試飲して、ポスターにまとめて発表を行いました。薬学部の学生だけでなく、他学

部の方も所属していて、いろいろな視点を学んでいます。パーベキュー大会やテスト前の勉強会など、日々の活動も盛りだくさんです。

“ 食品から薬まで幅広い知識をもった研究者へ ”

佐野 愛子 さん

(埼玉県・西武台高校)

ドラッグストアが好きで、薬以外にも健康維持や病気の予防に役立つものがあると知り、食品や化粧品も幅広く学べる薬科学科に進学しました。2年次からは早期配属制度によって生薬学研究室に所属し、先輩たちの姿を見ながら、研究の流れや発表の方法などを吸収しています。3年次に選択した「機能性食品科学」という科目では、実際に販売されている機能性表示食品にどんな成分が含まれ、体にどう作用するのかを学びました。気づいたのは1・2年次の科目で学んだ基礎的な知識が点から線になっていくこと。薬理学や生理学などで学んだ体のメカニズムに関する知識があるからこそ、薬や食品の成分のはたらきをより深く理解することができます。今後は大学院進学も視野に研究に取り組み、食品から医薬品まで幅広い知識をもった専門家になることが目標です。



資格取得で力試し

先生が折に触れ、受験できる資格やそのための講座などを紹介してくださるので、学ぶモチベーションが高まります。私は健康食品管理士の資格に

挑戦しているのですが、勉強していると、授業で学んだ内容に出会うことが多く、身につけた基礎知識が生かせることに自信を得ました。

3年

My Campus Life

“ 研究を通して自主性と対応力が磨かれました ”

濱崎 志奈 さん

(神奈川県・横浜市立南高校)

私は現在、機能性食品科学研究室でウロリチンという化学物質をテーマに研究に取り組んでいます。ウロリチンは、ザクロやイチゴ、グルミなどから腸内で作られる物質で、老化で弱った筋肉を回復させるという研究報告があり、高齢者に対する安全性や有効性を評価することが目標です。学生の自主性を尊重してくださる先生のもと、仲間たちも骨粗しょう症や抗酸化ストレスなど、現代的な課題に挑戦しています。また、研究室では月一回、研究の経過報告や研究に関連する英語論文の紹介を行っています。そのため資料の作成や質疑応答にもずいぶん慣れました。就職活動の面接で、臨機応変に対応できたのは研究室での経験のおかげです。卒業後は機内食を提供する企業に勤務します。学んだことを生かし、いつか味と栄養・機能の両面を満たす機内食の企画に携わることが夢です。



4年

My Campus Life

研究室選びの参考になる実習

3年次の薬科学実習では、オムニバス形式で化粧品や医薬品製剤を実際に作ったり、機能性食品の安全性を評価したりしながら、先生方の研究分野

に触れることができます。そうした課題や実験を幅広く体験することで、興味やわく分野に気づくことができ、研究への意欲も高まります。

阿部 卓哉 さん

2013年卒業
薬学研究科薬科学専攻 2015年修了

全薬工業株式会社 ヘルスケア開発部 勤務



研究開発

私の仕事

多くのスタッフと協力して
栄養補助食品を開発し、人々の健康に貢献

主に**健康補助食品の開発**を担当しています。医療用の新薬と比べると、比較的短い開発期間で人々の健康に貢献する商品をご提供できることが魅力です。製品づくりにあたっては、配合する成分や、どんな人を対象にするかなど、コンセプトからマーケティングまで幅広く検討します。営業や製造といったさまざまな部門のスタッフと意見を交わす場面も多く、「プロジェクトを動かしているんだ」という手応えを日々実感しています。

大学時代

製品開発に必要な技術や思考法を
身につけた研究活動

大学時代に食品や化粧品に興味を持ち、**企業との共同研究**も多い先生のもとで製品開発に必要な技術や思考法をじっくり養えたことが今の仕事に大きく役立っています。研究室で留学生や大学院生と交流したり、先生が主催する学会の運営に携わったり、学び以外の経験も、現在物怖じせずに多くのスタッフと交わる力となっていることに気づかされます。薬学部校舎のロビーには卒業生が手がけた商品が並んでいます。自分が開発を担当した製品もその列に加わることが、仕事のモチベーションのひとつになっています。

ココが Point

① 健康補助食品の開発

薬科学科では生命科学の基本的な考え方とモノづくりの技術を学ぶことができます。また、研究活動では、目的に達するために何が必要かを考える論理的思考が養われるため、商品開発などに役立つ視点が得られます。

② 企業との共同研究

研究室によっては企業との共同研究を発展に行う研究室もあります。研究室配属生は研究開発を行い、企業の方へ提案を行い、実際に商品化の一端を担うことも。最先端の技術を学びながら、社会の一員としての経験が積めます。

最近の主な進路

- 医薬品：救心製薬、ニチニチ製薬、あすか製薬、アポットジャパン、寿製薬、スズケン、藤本製薬 など
- 化粧品：マックスファクター エステー、希松、綺羅化粧品、セレーネメディカル、ディーエイチシー、ハンスバイオメド、フィッツコーポレーション、日本天然物研究所 など
- 治験：エイターヘルスケア、シミック、マイクロン、メディクロス、アスクレップ、イーピーメント、MICメディカル、サイトサポート・インスティテュート、サイトプラス など
- 食品：虎昭産業、マリンフレッシュ、オムニカ、ココロカ、三共食品、長野サンヨーフーズ、角上魚類、JAいるま野 など
- 化学品：ダイソー など
- ドラッグストア：アイングループ、ウエルシア、スギ薬局、セキ薬品、富士薬品、ウエルシア薬局、ウエルパーク、サンドラッグ、寺島薬局、マツモトキヨシ など
- 検査：江東微生物研究所、サンリツ、保健科学研究所、BML総合研究所、ニッセンケン品質評価センター、環境サービス など
- その他：国際協商、高座勝手造りハム、musse(ミュゼ)、神奈川県相模原市中学校教員、紺商、サムシンググレート、テンプスタッフ、紺商、IMSグループ、ABCマート、アイ・エム・アイ、ウィーズ、グッドサイクルシステム、新和製作所、日本赤十字社埼玉県赤十字血液センター、八神製作所、ワールドアパート、ドンキホーテ、ローソン など
- 進学など：城西大学大学院薬学研究科、埼玉大学大学院理工学研究科、北里大学大学院薬学研究科、上智大学大学院理工学研究科、東京大学大学院新領域創成科学研究科、東邦大学大学院薬学研究科

本学科
の
卒業生

Graduates

山本 みどりさん

2014年卒業
薬学研究科薬科学専攻 2016年修了

ゼリア新薬工業株式会社 筑波工場 品質管理室 勤務



品質管理

私の仕事

工場の生産スケジュールを守り
お客さまの信頼を裏切らないこと

私は現在、品質管理室に所属し、主に材料や原料の検査を担当しています。当社では医薬品や健康食品など、お客さまの体に入る製品を多く扱っているため、日々、安定した品質の製品を当たり前のように届けることが何より重要です。また、製造段階で問題が発見された場合はラインを止めなければならない、その損失を防ぐ意味でも**品質管理**の責任は重大です。業務を担当してまだ日が浅く、社内外の人とのやり取りには苦心していますが、一日も早くスムーズにこなせるようになり、製品のさらなる品質向上に貢献したいと思っています。

大学時代

城西の先生方の面倒見の良さを
社会人になってあらためて実感

学生時代、**薬事法**や化学などの基礎知識を学べたことは今の仕事の基盤を築いてくれました。また、検査の結果に異常があったときには何らかの原因があるのですが、その原因を探る力は、研究室で自ら実験の方法を考え、答えを得るために試行錯誤したことや養われたと感じています。仕事で検査結果の報告書を書くことも多いのですが、それが苦にならないのは、論文の執筆や学会発表で資料をつくる際、先生に丁寧に指導していただいたおかげだと感謝しています。

ココが Point

① 品質管理

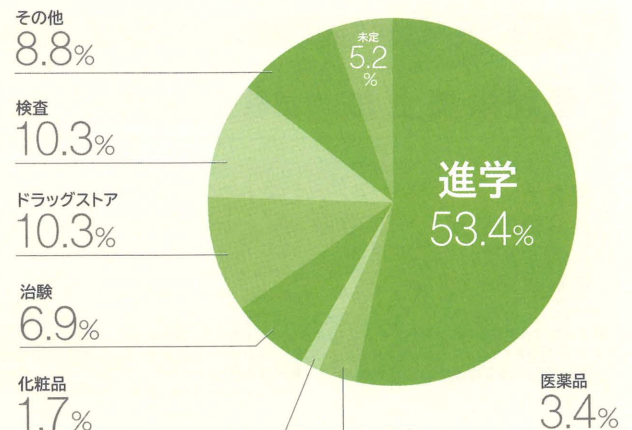
顧客や社会の要求する品質を満たし、法規や社内のルールに則った製品を提供するには多様な知識が必要です。薬科学科では化学はもちろん、学部・学科の枠を超えて学ぶ「副専攻」制度を利用して視野を広げることができます。

② 薬事法(現：医薬品医療機器等法)

薬科学科では将来幅広い分野で活躍するための基礎知識として、医療や薬事に関する法令、食品衛生に関連する法規などを学ぶことができます。

進路の内訳

*平成29年3月卒業時



〈管理栄養士 養成課程〉

医療栄養学科

Department of Clinical Dietetics and Human Nutrition

[4年制]



未来の健康を支える
薬学の知識・技能を持った
管理栄養士に



3年

尾島 詩織 さん (山梨県・日本大学明誠高校)

これからの管理栄養士は、病気の治療効果を上げる栄養管理や、生活習慣病を防ぐ予防栄養の知識が求められます。医療栄養学科は家政系や農学系の栄養学科とは違い、食だけでなく、生命科学を基盤に医療や薬について理解を深め、食物と薬の相互作用を理解し、一人ひとりの遺伝子の違いや体質に気を配りながら食事設計ができるテラーメードの管理栄養士を育成します。さらに、栄養指導・情報収集に欠かせないコミュニケーション能力を養うための授業が充実しています。

学びのポイント

一人ひとりに最適な 栄養治療ができる管理栄養士へ

病棟の現場に出て、入院患者の栄養状態を改善することで治療効果を上げるなど、医療チームの一員としての管理栄養士が求められています。「バイオサイエンスを基盤に、人間の健康を意識した栄養を理解する」"医療栄養学"を修得します。

薬学部内にある医療栄養学科 ならではのカリキュラム

薬のこと、医療のことがきちんと理解でき、医薬品と食品の相互関係について学べるのは、薬学部内にある管理栄養士養成課程ならではの特色です。栄養学とともに薬学の知識・技能を持った管理栄養士や機能性食品を開発・評価・提案できる管理栄養士の育成をめざしています。

管理栄養士をはじめとした 食と健康に関する資格取得を支援

医療、行政や食品関連事業などの幅広い分野で活躍するための各種資格の取得に向け、医学、薬学、食品学、栄養学などのスペシャリストが支援します。

取得できる資格

◇管理栄養士 (国家試験受験資格)

- ◇栄養士
- ◇食品衛生管理者 (任用資格)
- ◇食品衛生監視員 (任用資格)
- ◇栄養教諭

※ 本学医療栄養学科は厚生労働省から指定・認可を受けた栄養士養成施設ならびに管理栄養士養成施設です。卒業することにより、都道府県知事から「栄養士」免許が交付されます。また、所定の単位修得により管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭免許一種が取得できます。

合格実績

◇管理栄養士国家試験 合格率 (卒業生の合格率)

平均 **94.3%**

第31回管理栄養士国家試験(2017年3月実施)の本学科の合格率は、96.8%でした。これまでの卒業生の合格率の平均は、94.3%となっています。

入学前

入学前のサポート

入学前導入教育
フレッシュマンキャンプ

栄養治療のできる管理栄養士をめざし、
3つの分野から学びを深める

栄養と食品科学	臨床と薬	調理
生物学と化学の基礎を学ぶ	人の体の仕組みを知る	調理の基礎を身につける
食品を知り、興味を持つ 栄養の基礎を学ぶ	病気の発生の仕組みを学ぶ	メニューにこだわった調理をマスターする
機能性食品の大切さを確認する 栄養治療について学ぶ	医療人として必要な知識を学ぶ 医薬品に詳しくなる	栄養管理計画に基づいた調理をマスターする

臨床への実践

食品と医薬品の相互作用を学ぶ

薬物食品相互作用

食物は時に医薬品の効果を変えてしまうことがあります。これまで学んだ食品や栄養、医薬品の知識を融合・発展させて、食物によって引き起こされるかもしれない薬物療法への影響を未然に防ぐための知識を身につけます。

学外実習の実施

卒業研究
総合演習

管理栄養士国家試験(3月)



医療と食を理解して栄養指導ができるよう、食品に関わる調理実習だけでなく、生化学や解剖学などさまざまな実験を行います。



相手のことを理解し、納得してもらうためのカウンセリングマインドとプレゼンテーションスキルを養うため、心理系の科目も学びます。



臨床現場で必要とされる判断力、技術力、マナーなどの到達度を確認するための試験、OSCE。栄養系学科としてはいち早く取り入れました。

向学心を応援する柔軟な制度

◆早期配属制度

通常は3年次後期に所属研究室を決定しますが、研究に興味があり、成績上位の学生は、希望があれば2年次より研究室に所属し、卒業研究を始めることができます。



学外実習(病院・薬局)実習を実施

栄養治療に必要な知識・技能・態度の確認へ

3年次後期から4年次前期に学外施設における実務実習として、「臨床実習A(臨床栄養学)」と「臨床実習B(給食管理学・給食経営管理学)」を必修科目として1ヶ月間、病院での実習を行います。さらに、「臨床実習C(公衆栄養学)」及び「薬局実習」を実施しています。



クローズアップ

食育

●DHA (Diet and Health Association; 食と健康のサークル)

さまざまな活動を通じて学生が食育に触れ、学び、そして対象者に食育を実施することを主たる活動としています。設立当初から取り組んでいる「栄養カルタ」は、このサークルで独自に作成したもので、学生が地域の保育園などに出向き、子ども達と栄養カルタを用いて一緒に楽しみながら食の大切さを伝えています。



薬と食

●薬と食の研究会

薬と食に関わるあらゆることに興味を持って深めることを主たる活動としています。食と薬は体に対して相互に関与することから、ハーブや食品の機能性、食品と医薬品の相互作用などについて調査・研究を行っています。また、関連するメディカルハーブ検定や登録販売者試験へのチャレンジ、ドラッグストア、食品工場や研究機関の見学を行うことで、食のより深い知識の習得をめざします。



スポーツ

●ANSWER (スポーツ栄養サポートサークル)

「食でスポーツをささえる」をコンセプトに、競技スポーツの選手や生涯スポーツを楽しんでいる方々を応援し、さまざまなサポートの手を差し伸べることを主たる活動としています。学生が主体となり考えた「食で私たちができること」を、対象者に対し最大限に提供して、お互いがハッピーになれるささえる活動を通じて、スポーツに積極的に参加します。そして、スポーツ活動を通して、幅広い教養と豊かな人間性、医療人としての適切なふるまいと、専門性を身につけた地域社会ならびに国際社会において活躍できる管理栄養士をめざします。



地域貢献プロジェクト

●埼玉の「食」に注目したヘルシーメニュー開発

行政や地域と連携しながら、学生が主体的に地域連携に取り組んでいます。最近では、埼玉県産の食材に注目した「行田ヘルシーメニュープロジェクト」や「こま川めしプロジェクト」に取り組んでいます。「タネまで柚子RUNスティックゼリー」は、このプロジェクトで開発された製品のひとつですが、埼玉県 毛呂山町(もろやままち)、越生町(おこせまち)、ときがわ町で生産されている「桂木ゆず」の活用法に着目し、「環境保護」と「健康機能」の観点から「種子」や「果皮」まで、丸ごと柚子をベスト化し、商品化しました。

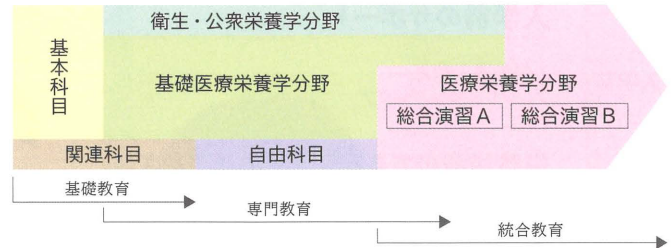


カリキュラム一覧

Curriculum

多くの疾患やクスリに対しての深い知識を持った
管理栄養士を育成するためのカリキュラム

※カリキュラムは2018年度入学者用
※◎は必修科目



1年	2年	3年	4年
基本科目 ◎フレッシュマンセミナー演習 ◎コミュニケーション基礎英語A ◎コミュニケーション基礎英語B ◎コミュニケーション基礎英語C ◎コミュニケーション基礎英語D	◎細胞生理化学 ◎食品材料学A ◎食品機能学実験 ◎生化学B ◎基礎栄養学 ◎食品材料学B ◎調理科学実験 ◎ライフステージ栄養学 ◎応用栄養学 ◎調理学実習B ◎栄養教育論B ◎栄養教育論実習 ◎給食経営管理論 ◎給食経営管理演習 医療栄養学英語A ハーブ論 香粧品学	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	管理栄養士国家試験 合格への学習支援
基礎医療栄養学分野 ◎生物学 ◎生化学A ◎生化学実験 ◎生物有機化学 ◎医療栄養学概論 ◎医療栄養学概論演習 ◎食品化学 ◎基礎分析化学実験 ◎食品化学実験 ◎調理加工学 ◎調理学実習A ◎栄養情報科学実習 ◎栄養教育論A 機能性食品論	◎食品衛生学 ◎食品衛生学実験 ◎公衆衛生学 ◎公衆栄養学A ◎公衆栄養学実習	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	グローバリゼーション論
衛生・公衆栄養学分野 ◎微生物学	◎食品衛生学 ◎食品衛生学実験 ◎公衆衛生学 ◎公衆栄養学A ◎公衆栄養学実習	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B 毒性学 医薬品情報学 内分泌学
医療栄養学分野 ◎解剖生理学A ◎解剖生理学B 福祉論	◎カウンセリング演習 ◎看護学演習 ◎病態解析学A ◎薬物療法学A ◎薬物療法学B ◎解剖生理学実験A ◎臨床栄養学A ◎総合演習A 医療心理学 スポーツ栄養学演習	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B 毒性学 医薬品情報学 内分泌学
自由科目	◎食品衛生学 ◎食品衛生学実験 ◎公衆衛生学 ◎公衆栄養学A ◎公衆栄養学実習	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B 毒性学 医薬品情報学 内分泌学
関連科目 心理学I 国際グローバル研修 など	数理解析A・B など	◎食品機能学 ◎特殊環境栄養学 ◎栄養学実験 ◎栄養生理学実験 ◎給食経営管理実習 ◎メニュープランニング演習 医療栄養学英語B 医療経済学 医療経営学 栄養教諭概論A 栄養教諭概論B	◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B 毒性学 医薬品情報学 内分泌学
◎臨地実習B			
◎公衆栄養学B			
◎臨地実習C			
◎解剖生理学実験B ◎臨床栄養学B ◎臨床栄養学演習A ◎臨床栄養学演習B ◎臨床栄養学実習A ◎臨床栄養学実習B ◎病態解析学B ◎医療制度概論 ◎薬理学 ◎栄養療法学 ◎病態解析学演習 運動生理学演習 薬物療法学C 診断放射化学 分子生物学 栄養免疫学 介護学演習 緩和医療学 分子栄養学 フードサービス論			
◎卒業研究 ◎薬物食品作用学 ◎総合演習B 毒性学 医薬品情報学 内分泌学			
薬局実習 ◎臨地実習A			
医薬品情報・マネジメント概論A 医薬品情報・マネジメント概論B			
教職関連科目(教育制度、教育心理学、教育課程論、教職実践演習(栄養教諭)など13科目)			
資格英語II A・B 資格英語III A・B			

カリキュラムの中から注目授業をPICK UP

1 食品の化学的・物理的性質とは?

食品化学・食品化学実験

食品を「生きたために必要な材料の供給源」として考えると、人間栄養学における「価値」の体系が生まれます。この授業では、食品をより効果的に摂取するための調理法を理解するために、食品成分の化学的・物理的性質の基本的知識を学びます。



2 本格料理にチャレンジ! 調理学を学ぼう

調理学実習B

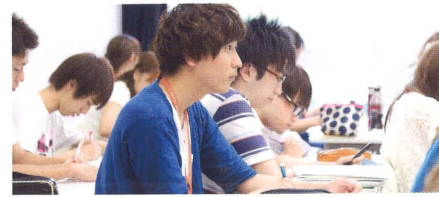
1年次で学んだ基礎的な調理理論と技術を発展させ、ライフステージ別の食事(離乳食・介護食)や、食物アレルギーへの対応食を学びます。また、給食施設の献立の仕組みを学び、自分でメニューを設計する基礎力を養います。



3 効果から法規まで薬全般の知識を身に付ける!

薬物療法学A

疾病の薬物療法に用いられる医薬品を理解するために、医薬品と食品の相違点、薬の作用様式、剤形、投与経路、薬効をあらゆるまでの生体内での運命と医薬品の開発、保管、取り扱いに関する法規などの基礎知識を身に付けます。



4 患者に寄り添った食事設計&栄養指導を学ぶ

臨床栄養学実習B

さまざまな疾患や手術などにより、特別な栄養管理が必要な方々に対して、医療チームの一員として、栄養ケア計画を立案して実施するために、傷病者の体の状態を栄養の面から評価する理論と技術を学びます。



5 医療チームの一員としての栄養治療とは?

栄養療法学

さまざまな病気の症状に合った栄養管理を効果的に行うために、医療の中での栄養療法の位置づけ、栄養療法の種類と特徴、栄養療法を行う上での注意点、薬物療法と栄養療法の相互作用に関する基礎知識を学びます。



6 管理栄養士国家試験対策も万全!

総合演習A・B

2年次から国家試験の役に立つ授業・演習・確認試験を実施します。特に、卒業直前の半年間には特別授業をはじめ十分な対応をします。また、国家試験の模擬試験も6回以上実施しています。



教員が作成したテキストを活用!
(書店でも販売中)

研究室

Laboratory Report

病気を治療する薬と健康を維持する食品の適切な利用によって高度なストレス社会に対抗。

生体防御学研究室

担当教員 日比野 康英 教授 / 神内 伸也 准教授 / 岩田 直洋 助手

薬学と栄養学が融合したPharma-Nutritionの考えが医療栄養学の本質です。

生体防御学研究室では、薬学と栄養学を融合させたPharma-Nutritionの考えの下、さまざまなストレスが原因となる生活習慣病に対して、効果的な予防法や治療法の確立をめざしています。テーマは多岐にわたりますが、主な研究対象は、血糖値や血圧の調節、疲労の仕組みなどの解明と、その改善に役立つ機能性食品です。マンネンタケの菌糸体から抽出した成分もその一つです。この成分には、免疫力アップや血糖値の上昇を抑制する機能があるほか、明らかになっていない機能が数多くあり、新たな機能の発見とそのメカニズムを解明することが目標です。企業との共同研究も多く、実際に健康食品として製品化されていったものもあります。それだけに、学生は提供するデータに対する責任の重さと、人々の健康な生活に貢献するやりがいを感じて研究に取り組んでいます。



MESSAGE

自らの意思でモチベーション高く動く、
研究型の社会人になってください。

指示されたことをその通りやるだけの仕事はつらいでしょう。社会人として仕事を面白くするためには自分から考えて行動することが必要です。研究室でも、他人と同じ考えを持つことに安心せず、主体性を持って学び、行動する姿勢を育んでください。

個々の知的好奇心をひろげながら、健康を維持する「食」の専門家をめざしましょう。

研究は指示されたことをこなすのではなく、自分の知的好奇心にもとづいて、課題を解明していく営みです。また、仲間と切磋琢磨し、チームの役割を果たすことを通して、社会に出てからも自ら考え、モチベーション高く課題に立ち向かう力を養うことができます。超高齢社会を迎え、日本の医療の課

題は予防へと移行しています。つまり薬学の知識を備えた栄養の専門家が果たす役割も、ますます重要になっているのです。病気の治療には薬が役立ちますが、健康を維持するのは「食」です。医薬品の効果を生かしながら、タイミングをはかって食品へと代替し、栄養補給で人を健康にできる栄養の専門家を育てることも、私の研究室がめざしていることの一つです。

主な研究テーマ

- 高血圧症を予防する食品・食品成分の探索と応用
- 脳卒中を予防する食品・食品成分の探索と応用
- 糖尿病を予防する食品・食品成分の探索と応用

- 生体内の免疫能に影響を与える食品・食品成分の探索と応用
- 生活習慣病の治療に利用される医薬品の効果と食品の予防効果の比較検討
- 食品・食品成分の負の側面をエビデンス的な視点で解析

医療栄養学科には、
次のような研究室があります。



薬物療法学研究室、臨床栄養学研究室、予防栄養学研究室、栄養教育学研究室、分子栄養学研究室、食毒性学研究室、病態解析学研究室、食品機能学研究室、栄養管理設計学研究室、医療栄養学教育推進室

“興味や知識が広がる楽しさを味わっています”



小泉 真衣 さん

(埼玉県立松山女子高校)

高校時代ソフトボール部のマネージャーとして選手を支えた経験から、大学ではスポーツ栄養をもっと専門的に学びたいと思って入学しました。以前、腰を傷めた選手に腹筋運動をするよう指示されたことが疑問でしたが、「解剖生理学」の授業で体の前側の筋肉も腰を支えていることを知り、理由が分かりました。自分が体験してきたことに対する理論的な背景が見つかる、もっと学びたいという意欲につながります。授業は覚えることが多く大変ですが、少しでも疑問に感じたことは調べ、それでもわからなければ先生に質問して解決するようにしています。先生方の研究分野は多様で、スポーツ栄養はもちろん、チーム医療で患者さんの回復を支えることにも関心がわいてきました。興味や知識が広がることを楽しみながら、積極的に知識を吸収したいと思っています。

1年 My Campus Life

健康レシピプロジェクトに参加

行田市プロジェクトで、テーマは「育児中のママが手軽に食べられるメニュー」。私たちはカップのパンケーキを提案しましたが、先生方のレシピ

は考えが深くさすがだと思いました。誰かを思って作るのが楽しく、これからはさまざまな機会を見つけて挑戦したいと思っています。

“同じ目標を持つ仲間と助けあっています”

國嶋 明仁 さん

(埼玉県立松山高校)

以前から食物に興味があり、食を通じて人の役に立てる管理栄養士に魅力を感じて入学を決めました。1年次は、栄養学と管理栄養士の役割の重要性を理解する講義が印象的で、実際に管理栄養士として活躍している先輩方の講演は説得力がありました。健康の基盤となる食の専門家になることに使命感を感じ、以来、一つひとつの授業を大切にするようになりました。勉強量は多いのですが、同じ目標に向かってがんばっている仲間の存在に助けられています。2年次からは少しずつ専門的な内容になって、食と医薬品との相互作用など、学びたかった学問に取り組んでいる充実感があります。「カウンセリング演習」など、人と接する方法を学ぶ心理系の科目も多いので、患者さんに適切な栄養指導を行うためのコミュニケーション力を高めたいと思っています。



集中できる図書館

自習スペースがたくさんあり、図書館(水田記念図書館→P.28)はよく利用しています。資料もそろっていますし、PCも使えるので、実験の課題レポート

をつくるときは図書館にすることが多いです。仲間と勉強するときはグループ学習室を使います。それぞれ得意、不得意があり、助け合って学んでいます。

2年 My Campus Life

“医療に貢献する管理栄養士をめざしています”



大森 早織 さん

(栃木県・白鷺大学足利高校)

食物アレルギーで給食などに苦労した経験から、同じ悩みを持つ人をサポートしたいと考えて、管理栄養士を志しました。医療栄養学科は栄養とともに「薬物療法」や「薬理学」など薬学についても詳しく学ぶことができます。将来、病院で栄養治療に携わりたいと思っている私にとって薬の知識を蓄えることは有意義でした。所属する研究室では、親がフルクトース(くだものや清涼飲料水に多く含まれる糖)を摂取した際に、子どもが肥満になりやすいと言われていた説の因果関係を明らかにすることに取り組んでいます。私たちは3人のチームでその仕組みを調べたのですが、心がけていたのは綿密なコミュニケーションです。お互いに意見を交わしながら、目標を共有して結果を示せたことは貴重な経験になりました。この成果をもとに卒業後は大学院に進み、さらに研究を深めたいと思っています。

4年 My Campus Life

臨床に直結したカリキュラム

「臨床栄養学」の授業で、症例や事例の検討や栄養指導など、臨床の場に必要なことを学びました。また、薬学の知識も病院実習の際、カルテを見て

症状がある程度わかるなど、とても役に立ったことから、将来は病院の管理栄養士として働きたいと強く思うようになりました。

萱場 慶太 さん

2012年卒業

医療法人社団 時正会
佐々総合病院 栄養科 勤務



NST
専門療法士

私の仕事

栄養サポートチーム (NST) で
多職種と連携し、患者さんの回復を支援

医師の食事箋をもとに食札を作成して厨房に伝えることからキャリアをスタートしました。その後、献立の作成や栄養指導などを経験し、現在は**NST (Nutrition Support Team)**で、医師や看護師をはじめさまざまな職種の方と協力しながら、患者さんの回復をサポートしています。栄養管理は患者さんの治療の基本です。栄養士の役割の重さを実感し、普段から患者さんの話をよく聞いて、一人ひとりに合った栄養を提供できるように心がけています。食の好みも含め、さまざまな要素を満たす栄養計画をつくるのは難しい課題ですが、患者さんが元気になって退院する姿を見ると、その苦勞も報われます。

大学時代

食と医薬品の相互作用を学んだことが
業務に直接役立っている

学生時代、病院実習で**栄養指導**などの管理栄養士の仕事を体験し、NSTチームにも帯同したことが、病院の管理栄養士をめざすきっかけになりました。栄養が満たされていないと、手術後の回復が遅れ、感染症にかかりやすくなるなど影響は見逃せません。食品によっては薬の効果を低下させる場合もあり、大学時代に食と医薬品の密接な関係を学んだことが仕事に直接役立っています。

ココが Point

① NST (Nutrition Support Team)

NSTは医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などがそれぞれの知識を持ち寄り、患者さんの栄養管理を行う専門チームのことです。NSTが適切な栄養管理を行うことによって、順調な回復と入院日数の短縮に効果をあげています。

② 栄養指導

検査データはもちろん重要ですが、患者さんに合わせた栄養指導を行うためには、一人ひとりに寄り添い、対話することが大切です。城西大学では「カウンセリング演習」などの科目を通して、相手の理解し、説得する力を養うことができます。

本学科
の
卒業生

Graduates

中野 香名 さん

2011年卒業
薬学研究科 医療栄養学専攻
2013年修了

国立大学法人
千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部 勤務



管理栄養士

私の仕事

患者さんのことを把握し
実現可能な栄養指導を提案

栄養指導で具体的な効果を生むには、セオリー通りのやり方だけでは不十分です。大切なのは患者さんと会話を重ね、普段の生活、食の嗜好などをはじめ、服用している薬をしっかりと把握し、そのうえで現実的な提案をすることだと考えています。薬の種類、機序、期待されている効果といった情報は、確実な栄養管理の実践のため欠かせないからです。日々の業務を通して、これからの栄養指導には、薬や医療の分野についての専門的な知識が求められていることをあらためて感じています。

大学時代

服用している薬をチェックするのは
学生時代から身につけた姿勢

栄養指導などで患者さんと接しているとき、ごく自然に**服用している薬**にも目が向くのは、管理栄養士として当然のことと考えていたのですが、医療栄養学科で学んだからこそ身につけた姿勢でもあります。自分がいかに現場と直結した実践的な学びを行ってきたかを実感するのは、そんなふとしたときです。**学ぶべきこと**はまだまだまだたくさんあり、その最初のステップとして、NST専門療法士や日本糖尿病療養指導士などの資格取得も視野に入れています。

ココが Point

① 服用している薬

「薬物療法学」など、医薬品を理解するための科目が充実しています。薬学部内にある管理栄養士課程だからこそ、医薬品の効果から法規まで薬に関する全般的な知識を身につけることができます。

② 学ぶべきこと

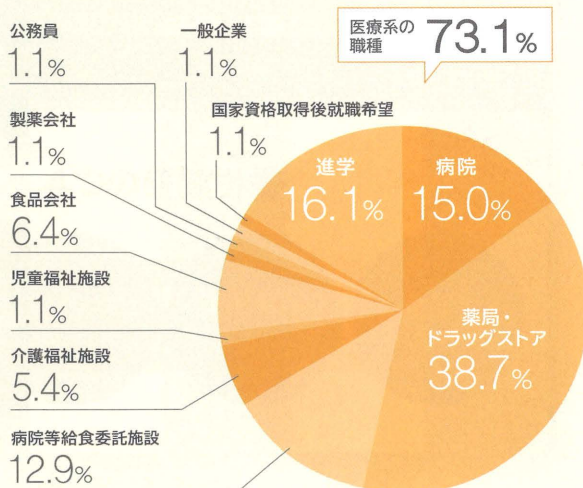
城西大学では卒業生をはじめ、生涯教育講座や薬局管理栄養士研究会(卒業後教育→P.06)など、地域で活躍する薬剤師や管理栄養士を対象に最新の情報を提供し、学び続ける意欲を応援しています。

最近の主な進路

- 病院：東京医科大学八王子医療センター、埼玉医科大学病院、福島県立医科大学附属病院、自治医科大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、国立病院機構、埼玉県立がんセンター、千葉大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東海大学医学部附属病院、東邦大学医療センター大森病院、信州大学医学部附属病院、さいたま赤十字病院、裾野赤十字病院、水戸赤十字病院、TMG(戸田中央医科グループ)、IMSグループ(板橋中央総合病院グループ)、AMG(上尾中央医科グループ)、埼玉県総合リハビリテーションセンター、JA長野厚生連、関越病院、川崎幸病院、湘南鎌倉総合病院、練馬総合病院、墨田中央病院、八王子消化器病院、初台リハビリテーション病院、公立置賜総合病院、佐野厚生総合病院、埼玉石心会病院 など
- 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、児童福祉施設：SOMPOケアネクスト、特別養護老人ホームこもりの郷、社会福祉法人よし乃郷、常盤福祉会、常磐苑、雲母保育園、武蔵浦和保育園、東中川保育園 など
- ドラッグストア、保険薬局：トモズ、ウエルシア薬局、ココカラファイン、セキ薬品、クリエイトSD、マツモトキヨシ、エフケイ、クオール、ツルハドラッグ、アピック、フォーラル、薬樹、望星薬局、カワチ薬品、日生薬局、サンドラッグ、アップルケアネット など
- 給食委託施設：日清医療食品、西洋フード・コンパス、富士産業、エムサービス、ダイエトリークア、グリーンハウス、LEOC、王将フードサービス、ファンデリー、イー・ピーカンパニー など
- 食品企業：キリンビール、キュービー、東洋水産、花王、山崎製パン、菊池食品工業、武蔵野フーズ、キサイフーズ工業、BML フード・サイエンス、クリニコ、ドンク、アベゼン・レストラン・システムズ など
- 製薬企業：Meiji Seika ファルマ、味の素製薬、ノバルティスファーマ、杏林製薬、全業工業、日本新薬 など
- 公務員：埼玉県職員、東京都職員、新潟県上級職員、羽生市職員、他自治体公務員 など
- 進学：城西大学大学院、静岡県立大学大学院、熊本県立大学大学院、神奈川県立保健福祉大学大学院、日本女子大学大学院、日本女子体育大学大学院、東京農業大学大学院、日本女子大学大学院、福岡大学大学院 など

進路の内訳

*平成29年3月卒業時



大学院

Graduate School of **Pharmaceutical Sciences**

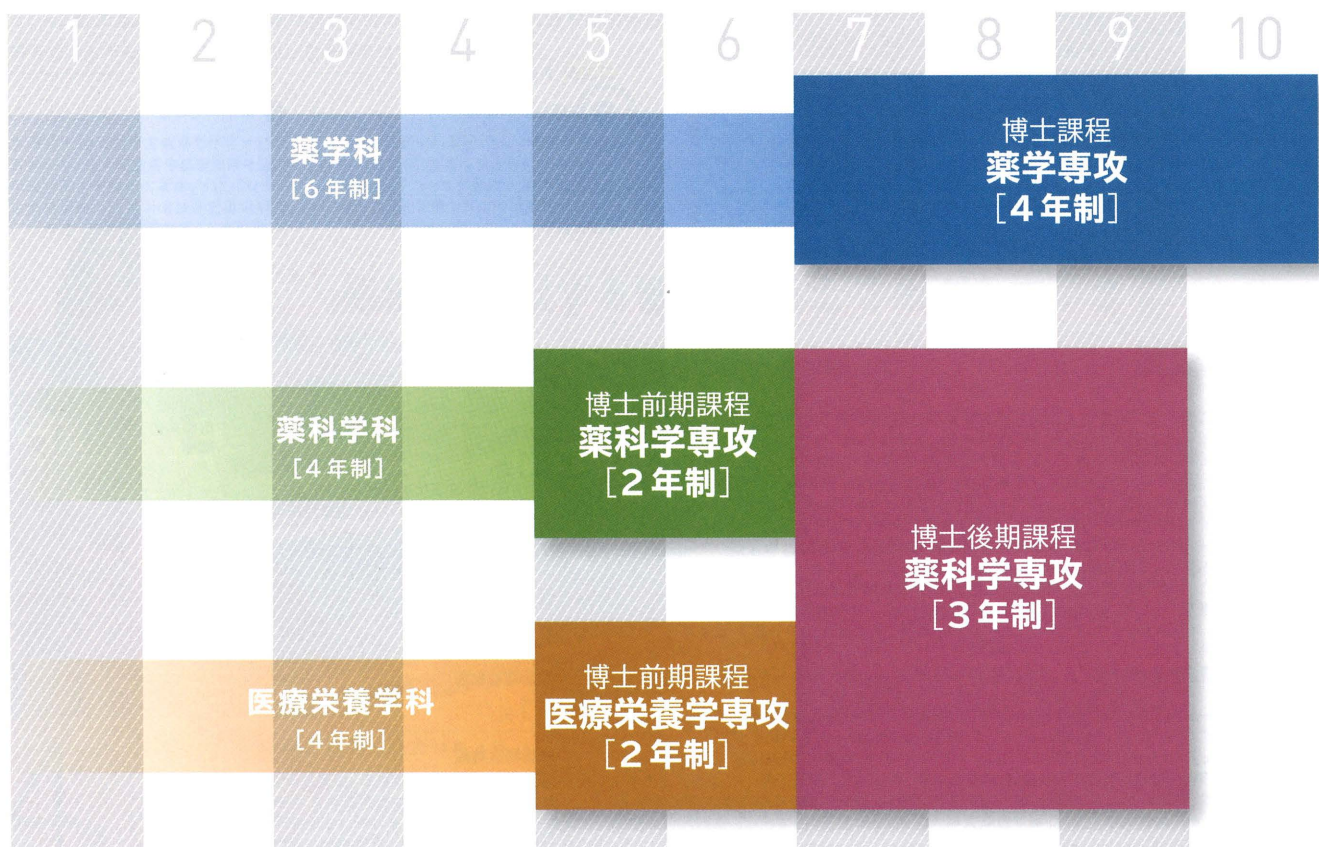


より深い専門性と、より広い視野で
人びとの「健康」をサポートする、
スペシャリスト養成を目指して



Quality of Lifeに基づいた国民一人ひとりの健康増進をサポートしていくために、より高度、広範で、深い能力を持つ薬学・栄養学の専門家が、今、強く求められています。こうした社会のニーズにこたえていくため、城西大学大学院薬学研究科ではより深い専門性とより広い視野で人びとの「健康」をサポートする人材を育成しています。充実した講義・演習・実習等を通して、より深く専門性を探究すること。そして、より複雑化していく「健康」を分析するため、専門以外にも領域を超えて学識を養い、多角的にアプローチすること。これら二方向からの学びによって、高度な専門性と幅広い分野に対応できる応用力を兼ね備える、バランスの取れた専門家の育成を目指していきます。そして、創薬・化粧品開発、機能性食品開発、医療等、それぞれの現場で「健康」に幅広く貢献できる、そんなスペシャリストを養成していきます。

城西大学 大学院 薬学研究科 全体図





各専攻の紹介

博士前期課程 薬科学専攻 [2年制]

Pharmaceutical Sciences,
Master's Program

国民一人ひとりが主観的な生活と生命の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる高度な専門職業人の育成を目指します

薬学が対象とする広範な専門分野のうち、医薬品・化粧品・機能性食品・生活消費化学品等の、ヒトが摂取または暴露する可能性がある化学物質の研究開発に対して、安全性に主眼を置いた広い視野に立って携わることのできる高度専門職業人を対象として学問的基盤をさらに深化させることによって高度、広範な医療に広く携わることができる高度な専門職業人の育成を目指します。

4つの研究分野

基礎薬学
分野

化粧品機能
分野

食品栄養機能
分野

医薬政策管理
分野

博士前期課程 医療栄養学専攻 [2年制]

Clinical Dietetics and Human Nutrition,
Master's Program

医療や人々の健康に寄与できる医学、薬学、栄養学の素養を身につけた高度な専門職業人の育成を目指します

「医療の中で活躍できる」「高度な機能を有する食品を設計できる」「食毒性を回避した食事設計ができる」高度な専門職業人の養成を主たる目的としています。チーム医療に主眼を置き、バイオサイエンスを基盤とした食、薬、毒の生体作用を理解するための基礎知識を修得し、疾病予防への応用、機能性食品の開発に携わることができる高度な専門職業人の養成を目指します。

3つの研究分野

医療栄養
分野

食毒性
分野

栄養政策管理
分野

博士課程 薬学専攻 [4年制]

Pharmacy,
Doctoral Program

薬学分野の学問的基盤を充実し、保健・医療の高度化を推進して国民一人ひとりの Quality of Life を支援できるきわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します

主に6年一貫の薬剤師養成課程を修了した上で、さらに豊かな学識を養い、高度に専門的な業務遂行に必要な研究能力を身につけることを目的としています。近年の生命科学の急速な進歩に対応できるよう、生命科学の全体像を学び、豊かな素養を涵養し、さらに薬学の学識を深化することで、スペシャリストとしての学識と専門性を養い、きわめて高度な専門性を有する医療人の育成を目指します。

3つの研究領域

薬探索
領域

生体防御
領域

医療
領域

博士後期課程 薬科学専攻 [3年制]

Pharmaceutical Sciences,
Doctoral Program

Pharma-Nutrition* (薬学分野と食品・栄養分野の融合分野) の視点で医学、薬学、栄養学の領域を広く俯瞰し人々の健康増進に寄与できるきわめて高度な専門職業人の育成を目指します

医薬品、化粧品、生活消費化学品、機能性食品を研究・開発・評価するために必要な学識と専門性を養い、きわめて高度な専門職業人の育成を目標とします。そのため、薬学分野と食品・栄養分野を融合させた、Pharma-Nutrition という学際分野の視点を積極的に導入・展開し、生命科学の最新成果を取り入れた、より高度な薬科学の修得を目指します。

4つの研究分野

医薬品・
化粧品機能
分野

基礎薬学
分野

食品機能
分野

食毒性
分野

*これまでの薬学的な視点に加えて、薬学分野と食品・栄養分野の中間に位置して両者を融合させた学際分野を Pharma-Nutrition と呼んでいます。

坂戸キャンパス

Sakado Campus

花と緑に囲まれた広大なキャンパスで
充実した学生生活を
おくります



友達も
すぐできるかも!

留学生も多く、
国際色豊か!

★キャンパスカレンダー

- 4月
 - 入学式
 - 薬学部フレッシュマンキャンプ
 - 健康診断
 - 履修相談・申請
 - 創立記念日(4/20)
- 5月
- 6月
 - 体育祭
- 7月
 - 前期末試験
- 8月
 - 夏期休業
- 9月
 - 後期授業開始
- 10月
- 11月
 - 高麗祭(学園祭)
- 12月
 - 薬学共用試験(CBT)
 - 冬期休業
- 1月
 - 薬学共用試験(OSCE)
 - 後期末試験
- 2月
 - 薬剤師国家試験
- 3月
 - 管理栄養士国家試験

秩父山地と高麗川を臨むエリアに、21万平方メートルもの広大なキャンパスを誇る城西大学では、薬学部のほかに、経済学部、現代政策学部、経営学部、理学部の学生がともに学んでいます。四季折々の自然にも恵まれ、研究ばかりでなく学生生活を送るのにもぴったりの環境です。

1限目の授業は
朝の9:30
スタートです!



◆最先端の研究・教育が行われる薬学部関連施設



16号館 (医療栄養学科)



18号館 (薬科学科)



21号館 (薬学科)

※写真手前は薬用植物園

16号館、18号館、21号館(2017年新設)は、それぞれ3学科の拠点として実験室をはじめ、大・中の講義室、大・小演習室、大実験室、コンピュータールームを備えています。研究に必須の最新設備と充実した機材を備え、学びをバックアップします。



薬用植物園

学生の教育、研究に必要な薬用植物を栽培しています。同時に近年激減し絶滅の危機にある植物を栽培し、種の保存にも努力しています。



生命科学研究センター

他の大学にはほとんど見られない高水準の施設。薬学の研究・教育を支援するとともに、民間からの受託研究・共同研究も行われています。



城西大学薬局

城西大学に隣接する明海大学病院前と、埼玉医科大学病院前に2つの「城西大学薬局」があります。薬学科の実務実習だけでなく、医療栄養学科の薬局実習や薬科学科のインターンシップなどに活用されます。

今日はどのパンにしようかな〜♪

♥おすすめキャンパススポット



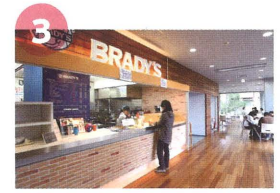
水田記念図書館

蔵書数約47万冊。薬学研究に必要な自然科学系学術誌はもちろん、総合大学のため、他分野の図書・雑誌も充実しています。先輩が学生アドバイザーとして図書に関する相談にも対応しています。平日は21時まで開放。土日も開いているほか、一般開放（一部）も行っています。



JU CAFE 2015 (第1食堂棟1階)

坂戸キャンパス最大の学生食堂(JU CAFE 2015)は、男子学生の食欲を満たす栄養満点の定食や丼飯、麺類をはじめ、大学の厨房で毎日作る焼ききたてパンや工夫を凝らしたパスタ類など、女子学生向けメニューも充実しています。



17号館カフェテリア

カフェテリアは、学生の憩いの場。日差しが気持ちいい日には、オープンエアのテーブルへ。眺めのよいスポットです。



水田清子記念ローズガーデン

水田清子記念ローズガーデンは、城西短期大学創立者水田清子先生の功績を顕彰するとともに、城西短期大学創立30周年および城西大学薬学部創設40周年を記念して整備されました。四季折々の花が楽しめます。



水田三喜男記念館

水田三喜男先生の生涯と大学の歴史を、写真や映像などの各種展示物を通じて知ることができます。



水田美術館

本学の創始者である水田三喜男先生が生前に蒐集された200点余りの浮世絵や日本画などを所蔵しています。



シャトルバス

大学と西武池袋線飯能駅(JR高麗川駅経由)を結ぶシャトルバスを毎日運行しています(有料)。また、大学と坂戸駅を結ぶ女子学生専用シャトルバスも運行しています(有料)。



学生用駐車場

学生用駐車場利用を申請により許可しています。

クラブ & サークル

クラブやサークルなど、課外活動も大学生活の魅力のひとつ。その一部をご紹介します！

薬学部の学生が多数在籍!

- ◆吹奏楽部 ◆ロードサイクリストクラブ
- ◆Blue Cats (チアリーダー部) ◆女子駅伝部
- ◆高麗祭実行委員会 (学園祭の実行委員会)

医療栄養学科主催!

- ◆DHA (食品や栄養の情報交換や情報の発信)

薬学部主催の多彩なサークル!

- ◆M's act (テニスサークル) ◆キャロット (バドミントンサークル)
- ◆薬学スキー同好会 ◆Bel's (医療系の他大学との交流サークル)
- ◆あんず組 (ダンスサークル) ◆薬学バスケットボール同好会
- ◆マーブル (女子学生キャリア支援サークル)

みんなでワイワイが楽しいんです!



学生サポート

Support for Students

充実した学生生活のために
幅広い側面から学生一人ひとりを
バックアップします

入学前



入学後



社会へ

◆入学前サポート

- ▶フレッシュマンキャンプ
- ▶入学前導入教育
- ▶メール相談 など

◆生活サポート

- ▶ピアサポート(上級生による支援)
- ▶担任制度
- ▶保健センター
- ▶学生相談室
- ▶学生ロッカー など

◆就学サポート

- ▶リメディアル教育
- ▶国際教育
- ▶国家試験対策支援 など

◆就職サポート

- ▶キャリアサポートガイダンス
- ▶業界・企業研究会
- ▶公務員講座
- ▶就職支援講座 など

サポート体制

学生のみなさまを、さまざまな角度からトータルにサポートできる体制を整えています。

- 保健センター** 心身共に健全な状態で学生生活を送れるように、定期健康診断、健康相談などを行っています。
- 学生相談室** 学生生活を送る上で生じるさまざまな不安や疑問を解決する場所です。相談内容については秘密を厳守します。
- 就職課** 就職課の専門職員が学生一人ひとりをサポートします。進路・職業への一般的な相談から、履歴書の書き方、自己PRの方法・模擬面接・作文添削まで、「あなたの相談員」が対応します。
- 薬学協力会** 薬学部の教育環境充実のための支援、キャリア形成のための支援や父母後援会とも連携して地区懇談会を開催しています。

共済事業

父母後援会では、授業における災害や日常生活中における災害について共済制度を設けています。

■学生教育研究災害傷害保険制度

本学の正課中及び課外活動中・通学中・学校施設等相互間の移動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合で、死亡保険2,000万円、入院給付金(180日を限度)1日につき4,000円などの保険金が支払われます。

■生命保険

死亡保険(病気による死亡・高度障害・不慮の事故による死亡・高度障害共)150万円、災害・入院給付金(5日以上120日を限度)1日につき2,250円など。

■共済

授業料補助、傷害見舞金、災害見舞金など。

各種奨学金制度

学生の経済的な事情を考慮した各種奨学金制度を完備しています。(詳細は本学HPでご確認ください)

		対象	支給	金額	人数
城西大学 奨学金制度	人物・学業共に優秀な学生を対象に、授業料の一部を奨学金として支給する制度です。	第1種特待生	給付	30万円	1名選抜 (薬学科) 2名選抜
		第2種特待生			
日本学生支援機構 奨学金 (平成29年度入学者) (金額は1カ月の貸与額)	人物・学業・健康に優れ、経済的に修学が困難な学生に奨学金を貸与する制度です。	第一種奨学金 (無利子)	大学院	修士	50,000円 または 88,000円
			大学院	博士	80,000円 または 122,000円
		大学	自宅	貸与	54,000円
			自宅外 選択	貸与	64,000円 30,000円 *自宅・自宅外にかかわらず選択できます。
第二種奨学金 (有利子)	大学院	貸与	5万、8万、10万、13万、15万円(選択)		
	大学	貸与	3万、5万、8万、10万、12万円(選択) 薬学部は2万円の増額可		
地方自治体奨学金	全国の各地方自治体が運営する奨学金制度を利用することもできます。				
水田三喜男記念 奨学生制度 ※	次世代の日本及び国際社会の各分野でそのより良き指導者となるべきリーダーの育成を目指した制度です。	本学学部生 (2年生)	給付	40万円 短期留学等に際しての 渡航費用の一部として助成	1年度あたり 10名
女性リーダー育成 奨励生制度 ※	国際社会において高度な専門能力・技能を身に付けた女性リーダーの育成を図るため、設立された奨学金制度です。	学部生および 大学院に在籍 する女子学生	給付	15万円～30万円 条件により選択	1年度あたり 各数名まで
グローバル チャレンジ 奨学金制度 ※	海外留学や海外研修制度、外国人留学生との交流等、本学独自の国際教育を通じて世界を体験し、そこで培われたグローバルな視野で物事を考え行動できる人材の育成を図るため、設立された奨学金制度です。	所定のエントリー資格を 満たしている 大学入試センター試験・ 指定校推薦入学試験 受験生	授与	30万円 短期留学等に際しての 渡航費用の一部として助成 など	33名

※全学奨学金制度です。

出身校一覧 (出身都道府県別 在籍者数[2017年度] 高校コード順)

●北海道(18名)
留南/北見北斗/室蘭栄/函館/札幌光星/北海道科学大学/とわの森三愛/札幌聖心女子学院/函館百合学園/函館ラ・サール/クラーク記念国際

●青森県(18名)
青森東/弘前南/八戸/五所川原/三本木/田名部/東奥義塾

●岩手県(11名)
盛岡第一/花巻北/黒沢尻北/水沢/盛岡南/岩手/盛岡百合学園/盛岡中央/一関修紅

●宮城県(14名)
古川/築館/石巻好文館/仙台西/仙台育英学園/東北/東北学院/仙台百合学園/秀光

●秋田県(8名)
秋田北/能代/横手/御所野学院/聖霊女子短期大学付属

●山形県(13名)
山形東/山形西/寒河江/長井/鶴岡南/酒田西/日本大学山形/米沢中央/酒田南

●福島県(33名)
橋/安積/安積黎明/郡山東/須賀川/白河/田村/会津/磐城桜が丘/湯本/原町/郡山/福島南/いわき光洋/福島成蹊/聖光学院/尚志/日本大学東北/石川(私立)/若松第一/いわき秀英

●茨城県(88名)
水戸第二/緑園/鉾田第一/麻生/土浦第二/竜ヶ崎第一/下館第一/下館第二/下妻第一/下妻第二/水海道第一/水海道第二/古河第一/古河第三/境/水戸校/牧/牛久米進/明秀学園日立/茨城キリスト教学園/茨城/常盤大学/水戸啓明/水戸短期大学附属/水城/土浦日本大学/東洋大学附属牛久/清真学園/江戸川学園取手/常総学院/聖徳大学附属取手聖徳女子/水戸美陵/つくば秀英/岩瀬日本大学/つくば開成/第一学院(高専校)

●栃木県(105名)
宇都宮/宇都宮南/宇都宮中央女子/鹿沼/今市/小山/栃木女子/佐野/足利/足利女子/真岡/真岡女子/大田原/矢板東/宇都宮北/鹿沼東/上三川/宇都宮清陵/小山西/栃木翔南/佐野東/作新学院/文星芸術大学附属/宇都宮文星女子/宇都宮短期大学附属/宇都宮海星女子学院/國學院大學栃木/佐野日本大学/白鷲大学足利/矢板中央/佐野日本大学中等教育

●群馬県(80名)
前橋南/前橋商業/高崎商業/桐生/桐生南/桐生女子/伊勢崎清明/伊勢崎商業/太田/太田女子/沼田女子/館林/館林女子/渋川/富岡東/渋川青翠/前橋(市立)/高崎北/前橋南/前橋西/太田東/高崎東/高崎経済大学附属/中央/共愛学園/桐生第一/新島学園/高崎商科大学附属/関東学園大学附属/東京農業大学第二/樹徳/前橋育英/高崎健康福祉大学高崎/明和興泉

●埼玉県(963名)
筑波大学附属坂戸/熊谷/川越/春日部/松山/浦和第一女子/熊谷女子/川越女子/春日部女子/松山女子/深谷第一/浦和南/不動岡/本庄/児玉/飯能/越ヶ谷/久喜/小川/秩父/大宮/蕨/朝霞/岩槻/越谷北/坂戸/川越工業/川口工業/深谷商業/進修館/熊谷農業/与野/鴻巣/所沢/上尾/豊岡/桶川/志木/越谷南/川口北/所沢北/深谷/熊谷西/川越南/いすみ/大宮中央/草加南/滑川総合/羽生第一/上尾南/春日部東/杉戸/川口総合/浦和(市立)/川越(市立)/川口(市立)/大宮北/大宮西/浦和南/県陽/川口東/浦和北/鷲宮/朝霞西/川越西/越谷西/坂戸西/所沢西/大宮東/南稜/所沢中央/草加東/庄和/大宮南/狭山清陵/越谷東/浦和東/新座総合技術/川越初雁/入間向陽/鳩山/伊奈学園総合/大宮光陵/越谷総合技術/久喜北陽/和光国際/寄居城北/ふじみ野/聖望学園/小松原/浦和麗明/細田学園/淑徳与野/本庄第一/山村学園/山村国際/正智深谷/大宮開成/狭山ヶ丘/本庄東/武蔵越生/武南/東京成徳大学深谷/浦和美実学園/星野/大妻嵐山/浦和明の星女子/浦和ルーテル学院/城西大学付属川越/埼玉栄/浦和学院/栄東/秀明/昌平/獨協埼玉/春日部共栄/城北埼玉/西武台/西武学園文理/秀明英光/花咲徳栄/秋草学園/開智/川越東/埼玉平成/東京農業大学第三/自由の森学園/東野/国際学院/栄北/開智未来

●千葉県(83名)
船橋東/船橋啓明/鎌ヶ谷/国府台/小金/柏(県立)/柏南/我孫子/佐原/銚子(県立)/大多喜/長狭/安房/木更津/君津/習志野/千葉(市立)/松戸(市立)/銚子(市立)/野田中央/松戸六栄/船橋二和/柏中央/白井/千葉西/市川那/富里/幕張総合/成田/市川/東葉/和洋国府台女子/麗澤/千葉英和/日出学園/国府台女子学院高等部/敬愛学園/専修大学松戸/柏日体/日本大学習志野/中央学院/横芝敬愛/八千代松陰/東京学園浦安/志学館高等部/昭和学院秀英/市原中央/流通経済大学付属柏/西武台千葉/千葉国際/中央国際

●東京都(577名)
東京工業大学附属科学技術/筑波大学附属/東京工業高専/青山/井草/上野/大泉/大森/片倉/北多摩/清瀬/久留米西/国分寺/江川/小平/小松川/鷲宮/忍岡/石神井/昭昭/神代/墨田川/高島/豊島/豊多摩/白鷺/東/東大和/一橋/日野/広尾/府中/府中東/府中西/福生/文京/保谷/町田/松原/三田/向丘/武蔵丘/武蔵村山/八潮/向国/小平西/城東/足立新田/砂川/武蔵野北/小平南/田無/東大南/東村山西/晴海総合/世田谷東/科学技術/芦花/上水/翔陽/青梅総合/日野台/小金井北/新宿山吹/稔ヶ丘/板橋有徳/葛飾総合/東久留米総合/九段/多摩科学技術/大妻/神田女子学院/共立女子/錦城学園/麹町学園女子/正則学園/東京家政学院/東洋/三輪学園/和洋九段女子/広尾学園/正則/普連土学園/山崎学園/海城/成城/保善/白百研心/関東国際/國學院/実践女子学院/渋谷教育学園渋谷/帝京八王子/東海大学付属望星/富士見丘/跡見学園/都文館/京華/京華女子/京北/東洋大学京北/京北学園白山/駒込/昭和一/東京電機大学/獨協/日本大学豊山/文京学院大学女子/桜丘/順天/女子聖学院/駿台学園/聖学院/聖美学園/成立学園/瀧野川女子学院/東京成徳大学/武蔵野/日本大学第一/安田学園/足立学園/潤徳女子/共栄学園/修徳/江戸川女子/関東第一/朋優学院/文教大学付属/自由ヶ丘学園/トキワ松学園/八雲学園/蒲田女子/東京実業/日本体育大学荏原/恵泉女子学院/国土学園/駒場学園/松蔭/昭和女子大学附属昭和/世田谷学園/大東学園/東京農業大学第一/日本学園/日本大学櫻丘/玉川学園高等部/日本大学第三/実践学園/東亜学園/大妻中野/堀越/杉並学院/桜成学園/文化学園大学杉並/専修大学附属/東京立正/日本大学鶴ヶ丘/川村/芝浦工業大学/十文字/城西大学附属城西/集陽/淑徳巣鴨/豊島岡女子学園/豊島学院/豊南/本郷/淑徳/城北(私立)/大東文化大学第一/帝京/東京家政大学附属女子/日本大学豊山女子/東京女子学院/富士見/自由学園高等科/東星学園/共立女子第二/工学院大学附

属/八王子学園八王子/八王子実践/昭和一学園/立川女子/明星/啓明学園/錦城/白梅学園/創価/拓殖大学第一/日体桜華/明法/日本放送協会学園/聖徳学園/吉祥女子/成蹊/藤村女子/法政大学/大成/明星学園/中央大学附属(小金井市)/武蔵野女子学院/文華女子/東海大学菅生/明治大学付属中野八王子/多摩大学附属聖ヶ丘/立教池袋

●神奈川県(41名)
横浜緑ヶ丘/多摩/生田/逗子/上溝/相模原(県立)/厚木東/座間/大磯/綾瀬/南/川崎(市立)/寒川/水取沢/大原/相模原総合/横須賀総合/麻生総合/藤沢清流/横浜雙葉/横浜学院/横浜英和女学院/横浜清風/桐蔭学園/武相/関東学院六浦/横浜創学館/横浜/湘南学院/横須賀学院/北鎌倉女子学園/藤嶺学園藤沢/聖園女学院/旭丘/東海大学付属相模/横浜隼人/相光学園

●新潟県(25名)
巻/新潟田/中条/長岡大手/三条東/小千谷/六日町/高田/新井/国際情報/直江津/新潟明訓/北越/新潟中央/新潟清心女子/新潟第一/東京学館新潟/日本文理

●富山県(1名)
高岡第一

●石川県(1名)
膳学園

●福井県(1名)
北陸

●山梨県(32名)
韭崎/甲府第一/甲府南/巨摩/市川/身延/日川/都留/吉田/甲府西/甲府東/富士河口湖/甲府昭和/白根/駿台甲府/山梨学院大学附属/東海大学付属甲府/日本大学明誠

●長野県(60名)
須坂東/長野(県立)/長野東/上田/上田東/野沢北/諏訪二葉/伊那弥生ヶ丘/飯田/飯田風越/松本県ヶ丘/松本美須ヶ丘/松本深志/松本蟻ヶ崎/松岡学園/長野清泉水学院/文化学園長野/長野日本大学/上田西/飯田女子/東京都市大学塩尻/東海大学付属第三/東海大学付属諏訪/佐久長聖

●岐阜県(2名)
大垣日本大学/麗澤瑞浪

●静岡県(40名)
伊東/沼津東/沼津西/沼津城北/富士宮東/清水東/清水西/掛川西/袋井/静岡市立/富士東/伊豆中央/三島/日本大学三島/加藤学園院秀/加藤学園/星塚/静岡雙葉/常葉学園橋/静岡聖光学院/磐田東/浜松学院/浜松日体/桐陽/藤枝明誠

●愛知県(6名)
千種/東海/東邦/南山/上記以外の高等学校等

●京都府(1名)
花園

●大阪府(4名)
浪速/大谷/清風/清教学園

●兵庫県(3名)
佐用/東洋大学附属姫路/第一学院(養父校)

●奈良県(1名)
天理

●和歌山県(1名)
近畿大学附属新宮

●鳥取県(1名)
鳥取東

●広島県(2名)
ノートルダム清心/広島新庄

●山口県(4名)
柳井/徳山/慶進/早稲

●徳島県(1名)
徳島文理

●香川県(1名)
香川県大手前

●愛媛県(1名)
愛光

●高知県(3名)
高知道手前/高知学芸/明德義塾

●福岡県(4名)
筑業女子学院/福岡舞鶴/柳川

●佐賀県(2名)
佐賀西/龍谷

●長崎県(1名)
佐世保北

●熊本県(2名)
くまもと清陵/一ツ葉

●大分県(2名)
日田

●宮崎県(2名)
宮崎工業/宮崎第一

●鹿児島県(5名)
鹿児島玉龍/松陽/池田学園池田/鹿児島修学館/屋久島おおぞら

●沖縄県(16名)
糸満/首里/小塚/浦添/普天間/具志川/開邦/那覇国際/沖繩尚学/興南

●高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定(13名)
●外国の学校等(4名)
●専修学校の高等課程(1名)
●特別入試・編転入(4名)

合計 2,299名

●**アパート情報** 学生課では、手頃なアパート情報を提供しています。城西大周辺のアパートの家賃は、都心と比べて格段に安くなっており、多くの学生が東武越生線沿線、坂戸駅周辺のアパートに住んでいます。

●**アルバイト情報** 学生課ではアルバイト情報を掲示により紹介しています。

学生納付金

※学生募集要項もあわせてご確認ください。

★ **薬学科** [6年制]

1年次	前期	1,293,000円
	後期	1,341,000円
	合計	2,634,000円
2~5年次	前期	1,364,000円
	後期	730,000円
	合計	2,094,000円
6年次	前期	1,404,000円
	後期	730,000円
	合計	2,134,000円

★ **薬科学科** [4年制]

1年次	前期	1,093,000円
	後期	1,116,000円
	合計	2,209,000円
2、3年次	前期	1,139,000円
	後期	630,000円
	合計	1,769,000円
4年次	前期	1,179,000円
	後期	630,000円
	合計	1,809,000円

★ **医療栄養学科** [4年制]

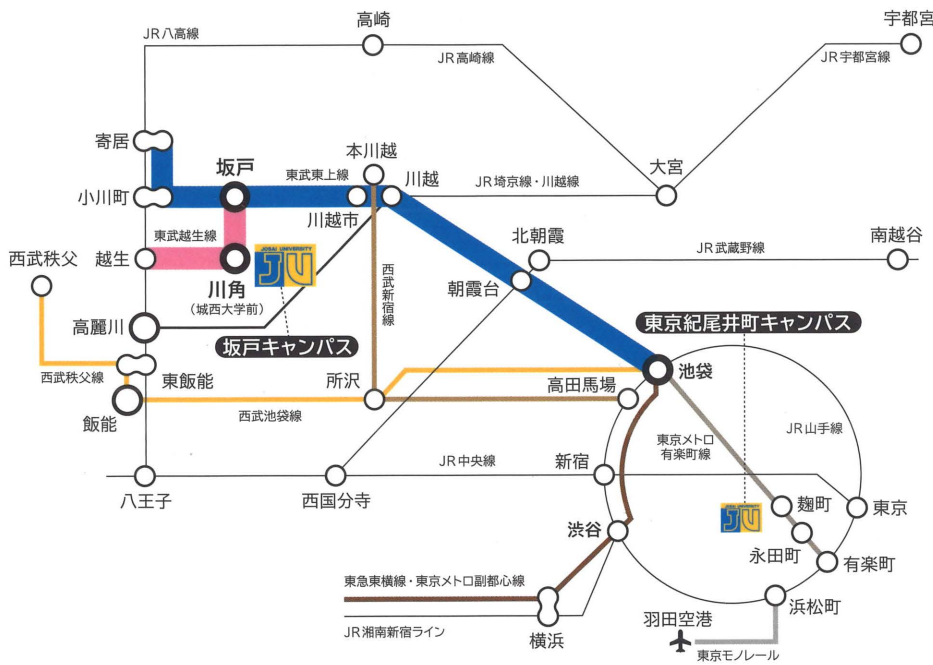
1年次	前期	1,153,000円
	後期	1,176,000円
	合計	2,329,000円
2、3年次	前期	1,199,000円
	後期	690,000円
	合計	1,889,000円
4年次	前期	1,239,000円
	後期	690,000円
	合計	1,929,000円

*薬学科(6年制)では、5年次以降に実施される病院・薬局実習費用については、学生募集要項記載の学費等納入金以外に実習年度に納入していただくこともあります。

*薬科学科(4年制)では、4年次に実施される臨床検査臨床実習(自由科目)を履修する場合、学生募集要項記載の学費等納入金以外に実習費用を実習年度に納入が必要になります。

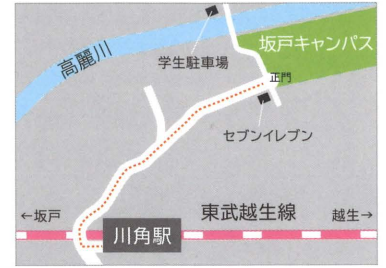
*調理実習・学外実習費は、授業料に含まれています。ただし、これら実習に関わる交通費等の諸経費は実費負担となります。

ACCESS



[坂戸キャンパス徒歩最寄り駅]

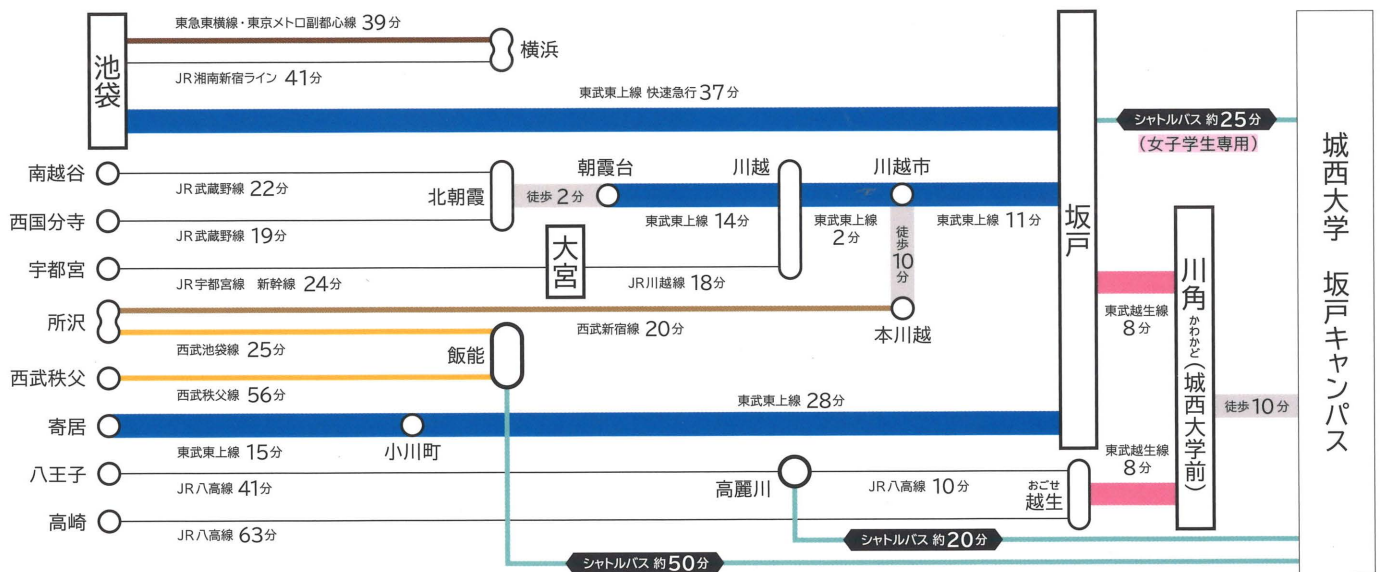
東武越生線
川角駅より徒歩10分



[坂戸キャンパス車でのアクセス]

関越自動車道
鶴ヶ島ICより 車で20分

※学生用駐車場あり。



シャトルバス案内

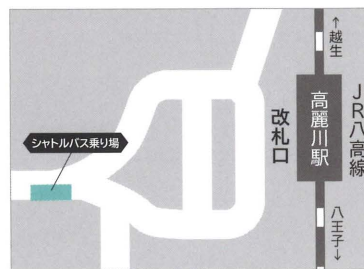
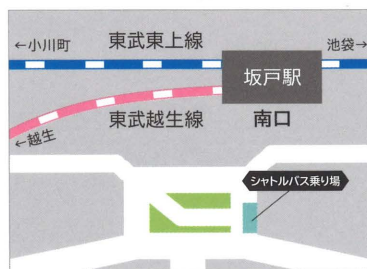
坂戸キャンパスまでの所要時間

東武東上線
坂戸駅 25分 (女子学生専用)

JR八高線
高麗川駅 20分

西武池袋線
飯能駅 50分

※時刻表は
本学ホームページで
ご確認ください。



JOSAI UNIVERSITY 城西大学 薬学部

<http://www.josai.ac.jp/>

城西大学 検索

願書請求・問い合わせ先 / 〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
代表: TEL.049-286-2233 入試課: TEL.049-271-7711

一人ひとりの未来を医療・食・生活から支える道へ!

薬学科 [6年制]

★薬剤師

薬科学科 [4年制]

★医薬品・化粧品・食品の専門家

医療栄養学科 [4年制]

★管理栄養士

資料請求は
こちらから

